

市民活動に関する市民意識調査 報告書



しろまるひめ

令和3年3月

姫 路 市

目次

はじめに

- 1 調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 集計・分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 3 特記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

調査結果のまとめ

- 1 市民活動の現状と今後のあり方・・・・・・・・ 4
- 2 市政への関わり・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

I 回答者について・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

II 自治会などの地域団体への関わりについて

- 1 地域団体の活動への参加状況・・・・・・・・ 17
- 2 地域団体の活動参加分野・・・・・・・・ 22
- 3 地域団体の活動に参加しない理由・・・・・・・・ 24
- 4 地域団体の活動への感想・・・・・・・・ 26
- 5 地域団体の活動の今後のあり方・・・・・・・・ 28
- 6 地域団体の今後の活動分野・・・・・・・・ 30

III ボランティア活動やNPOへの関わりについて

- 1 ボランティア活動やNPO活動への参加状況・・・・・・・・ 32
- 2 ボランティア活動やNPO活動の範囲・・・・・・・・ 35
- 3 ボランティア活動やNPO活動の分野・・・・・・・・ 36
- 4 ボランティア活動やNPO活動に参加しない理由・・・・・・・・ 39
- 5 ボランティア活動やNPO活動への参加意向・・・・・・・・ 41
- 6 参加してみたいボランティア活動やNPO活動の分野・・・・・・・・ 43
- 7 特に期待しているボランティア活動やNPO活動の分野・・・・・・・・ 45
- 8 地域団体とボランティア・NPOの役割分担・・・・・・・・ 48
- 9 市民活動推進のために重要なこと・・・・・・・・ 50
- 10 地域問題解決のための行政と市民のあり方・・・・・・・・ 52

IV 交流等に関する考え方と団体活動への関わりについて

- 1 コミュニケーションについて・・・・・・・・ 54
- 2 世代交流について・・・・・・・・ 58

V 市政への関わりについて

- 1 市役所の仕事や計画づくりへの関心・・・・・・・・ 62
- 2 市民の声を市政に反映していくために必要なこと・・・・・・・・ 64
- 3 市政情報の入手方法・・・・・・・・ 66
- 4 市政について特に知りたいこと・・・・・・・・ 68
- 5 市民参加の取組みの認知度・・・・・・・・ 70
- 6 市民活動に関する取組み、施策等の認知度・・・・・・・・ 72

自由意見の整理76

調査票調査票-1

姫路市市民局市民参画部
市民活動推進課

はじめに

1 調査の概要

(1)調査の目的

姫路市では平成16年12月に初めて「市民活動に関する市民意識調査」を行いました。その後、平成19年3月に「市民活動・協働推進指針」を、平成20年3月に第一次の「市民活動・協働推進事業計画」を策定し、以後第三次計画まで策定し、「ふれあいと賑わいある 協働・交流都市」の実現に向け、参画と協働のまちづくりを進めてきました。さらに、今年度中に第四次計画の策定も予定しています。

今回のアンケートは、姫路市が「まちづくりと自治の条例」を基本とし、全員参加のまちづくりを進める中で、前回アンケート実施時からの、市民活動に関する市民意識の変化を把握するとともに、今後の市民参加のあり方を検討し、計画策定の参考とするために、実施しました。

(2)調査対象者

姫路市にお住まいの20歳以上の市民について、住民基本台帳記載から男女別・各年齢階層別・各地区別で無作為抽出した、3,000人に調査のご協力をお願いしました。

(3)調査方法

調査票の配布、回収ともに郵送法としました。

(4)調査の期間

令和2年5月13日（水）～29日（金）

(5)回収の状況

①回収状況

配布数	有効配布数	有効回収数	回収率
3,000票	2,990票	1,154票	38.6%

②回答者の内訳と市民全体の比較

(回答者)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
男		38	49	70	83	83	102	35	1	461
		8.2	10.6	15.2	18.0	18.0	22.1	7.6	0.2	100.0
女		53	82	109	95	116	116	41	1	613
		8.6	13.4	17.8	15.5	18.9	18.9	6.7	0.2	100.0
不明					2	2	13	23	40	80
					2.5	2.5	16.3	28.8	50.0	100.0
合計		91	131	179	180	201	231	99	42	1,154
		7.9	11.4	15.5	15.6	17.4	20.0	8.6	3.6	100.0

(市民全体)

令和2年3月31日現在

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	合計
男	50,135	29,033	30,498	39,961	33,902	30,466	30,304	13,155	1,838	259,292
	19.3	11.2	11.8	15.4	13.1	11.7	11.7	5.1	0.7	100.0
女	47,784	26,671	29,146	39,893	35,202	32,267	37,013	21,350	6,030	275,356
	17.4	9.7	10.6	14.5	12.8	11.7	13.4	7.8	2.2	100.0
合計	97,919	55,704	59,644	79,854	69,104	62,733	67,317	34,505	7,868	534,648
	18.3	10.4	11.2	14.9	12.9	11.7	12.6	6.5	1.5	100.0

2 集計・分析

- ・集計、分析にあたっては、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、比率の合計が100%にならず、1%の範囲内で増減することがあります。
- ・性別、年齢別、居住地域などの基本属性について、調査上有効と思われる質問項目とのクロス集計を行い分析しました。
- ・平成16年12月に実施した前回の市民活動に関する市民意識調査と比較分析を行いました。なお、本報告書中では、「前回調査」と表記しています。

3 特記

- ・本調査は、調査期間を含む、令和2年4月7日から5月21日の期間に新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条第1項に基づく緊急事態宣言が発令され、緊急事態措置がされるなど、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響が拡がっている中で行われました。

調査結果のまとめ

1 市民活動の現状と今後のあり方

(1)地域団体の現状

回答者の4割強が何らかの地域団体の活動に参加しており、全体の約8割は活動が必要と答えているなど、自治会などの地域団体はより身近な生活を支えています。しかしながら、活動に参加している割合は前回調査（約6割）より減少しており、その一方で仕事や家事、育児、介護などで忙しくて活動に参加できないという回答がほぼ全ての年齢層に見られ、その傾向は若い年齢層ほど大きな割合となっています。

(2)ボランティア団体・NPOの現状

回答者の2割強はボランティア活動やNPO活動の参加経験があると答えている一方で、約7割の人は全く参加経験がなく、前回調査と同様の傾向です。ただ、若い年代層では、地域団体の活動に対しては消極的にもかかわらず、ボランティア活動やNPO活動への参加意欲が高い傾向が出ており、将来的に活動が広がっていく可能性があります。

(3)参加分野と期待分野

参加分野では、地域団体は「お祭りや運動会などの地域行事」、「環境美化、環境学習」、「防犯・防災・交通安全」が多く、ボランティア団体・NPOでは「環境美化、環境学習」、「お祭りや運動会などの地域行事」、「高齢者や障害者への福祉活動」が多くなっています。

今後の期待分野では、地域団体は「防犯・防災・交通安全」が第1位であるのに対し、ボランティア団体・NPOでは「高齢者や障害者への福祉活動」が第1位になっています。また地域団体では第5位だった「お祭りや運動会などの地域行事」がボランティア団体・NPOでは第8位に下がっているなど、地域団体とボランティア団体・NPOとの役割分担の期待が表れています。

(4)参加しない理由

活動に参加しない理由では「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」が前回調査同様、最も多く、共通しています。また地域団体では第4位、ボランティア団体・NPOでは第2位に「参加する方法が分からない・情報がない」という回答があり、活動参加の動機付けとなるような支援・情報提供が求められています。

(5)市民活動の今後のあり方

地域の問題解決に向けた行政と市民のあり方として、「行政だけではなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む」が最も多く、回答者の5割超は協働の意識があります。そして、市民活動推進のために必要なことでは、男女共に「活動団体や活動内容などの情報提供の充実」が突出して多くなっています。

また前回調査で第5位だった「活動経費などの資金援助」が第3位に上昇しています。

地域団体、ボランティア団体・NPOについての回答比較

項目	地域団体	ボランティア団体・NPO
①参加状況	<ul style="list-style-type: none"> ○4割強が参加 ○約3割が全く参加していない ○男性の方が積極的参加 ○20歳代、30歳代は消極的 ○「自営業」、「家事専業」の参加が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ●2割強が参加経験あり ●約7割が全く参加経験なし ●女性の方が積極的参加 ●60歳代、70歳代が活動の中心 ●「学生」は低迷
②参加分野	<ul style="list-style-type: none"> ○1位「お祭りなどのイベント」 2位「環境美化、環境学習」 3位「防犯・防災・交通安全」 ○70歳代は「高齢者などへの福祉活動」も 	<ul style="list-style-type: none"> ●1位「環境美化、環境学習」 2位「お祭りなどのイベント」 3位「高齢者などへの福祉活動」 ●女性は「高齢者などへの福祉活動」が高いウエイト
③参加しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ○1位「忙しい」 2位「興味・関心がない」 ○「高齢」や「病気」も 	<ul style="list-style-type: none"> ●1位「忙しい」 2位「参加する方法がわからない」 ●女性は「忙しい」が突出
④参加希望の有無、参加希望分野	---	<ul style="list-style-type: none"> ●4割強が参加を希望 ●女性の方が参加意欲高い ●男性は「防犯・防災・交通安全」を 女性は「高齢者などへの福祉活動」を
⑤活動の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○8割は必要 ○男性は「大いに必要」 ○若年層は消極的 	---
⑥今後のあるべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ○今後は消極的 ○男性はより充実を 	---
⑦今後期待する分野	<ul style="list-style-type: none"> ○1位「防犯・防災・交通安全」 2位「高齢者などへの福祉活動」 3位「環境美化、環境学習」 ○若年層は「子育て支援」 	<ul style="list-style-type: none"> ●1位「高齢者などへの福祉活動」 2位「防犯・防災・交通安全」 3位「環境美化、環境学習」 ●男性は社会的な面で、女性は人的な面で
⑧地域団体とボランティア・NPOの役割	<ul style="list-style-type: none"> ・「活動内容に応じ、地域団体が主になったり、ボランティア・NPOが主になったりして、互いに協力する」が5割強 	

2 市政への関わり

(1)市民の声の市政への反映

前回調査より若干減ったとはいえ、回答者の約7割が市役所の仕事や計画づくりに対して関心を持っています。特に前回調査では関心がさほど高くなかった20歳代の関心が高くなっています。

また、「市政への提案・提言の機会やしくみを増やす」や「自治会などの地域団体・NPOと市との意見交換の機会を増やす」、「まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす」など直接参加が必要と考える回答が約半数あり、若い層も含めた直接参加の機会づくりが求められています。

(2)市民活動に関わる市の取組み

市政情報の入手方法では、「広報ひめじ」が最も多く、前回調査でさほど多くなかった「市のホームページ」も割合が上がっています。

また新しい方法である「SNS（フェイスブック・インスタグラム等）」や「姫路市公式アプリ「ひめじプラス」」は、まだまだ一般に周知されているとは言えず、利用度は低くなっています。

市政について知りたいことでは、「新しくできた制度や手続きの紹介」、「自分が住む地域のまちづくり計画」が多いですが、これら以外でも「市の将来構想の内容」、「市の施設の内容や利用方法の紹介」や「行事の催しなどの情報」、「市の予算内容や使われ方」など、多方面に分散しています。

市民参加制度や市民活動に関する施策への認知度では、「姫路市公式アプリ「ひめじプラス」」や「情報公開制度」、「個人ボランティア登録制度」、「姫路城ボランティア・観光ボランティア」、「全市一斉清掃・まちかど

100mクリーンアクション」などで高くなっているものの、有効回答者数が少ないことから、全体的に認知度が高いとは言えず、さらなるPRの促進が求められています。

「姫路市公式アプリ「ひめじプラス」」については、認知度は高いにもかかわらず、市政情報の入手方法としては低い割合になっています。

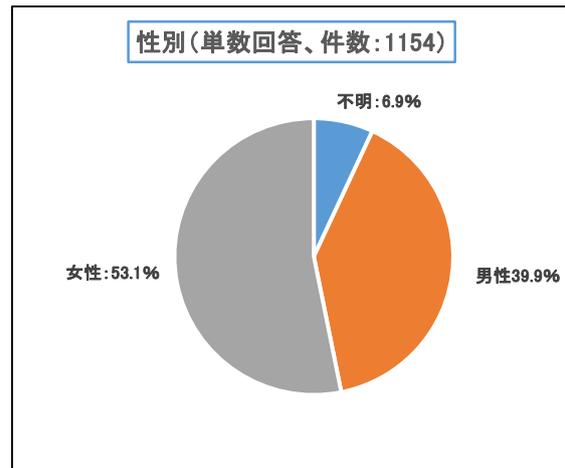
I 回答者について

1 性別

女性が過半数

回答者の性別は、「女性」が過半数（53.1%）を占めており、「男性」は39.9%となっています。

前回調査とほぼ同じ割合となっています。

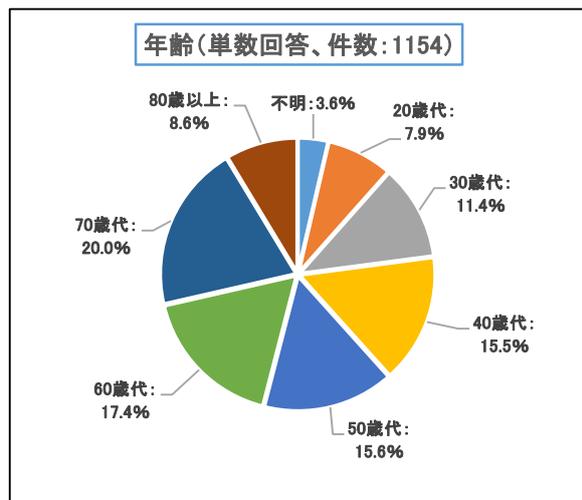


2 年齢

60歳以上が4割超

年齢別では、60歳以上が4割以上（46.0%）を占めており、前回調査の37.1%を大きく上回っています。

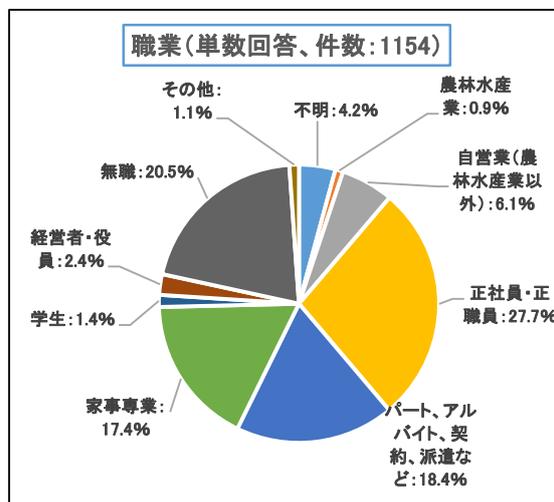
逆に、30歳代から50歳代のいわゆる中間層は42.5%で、前回調査の49.8%から減少しています。



3 職業

有職者が過半数以上

職業については、「正社員・正職員」が最も多く（27.7%）、これに「農林水産業」や「自営業」、「パート、アルバイトなど」、「経営者、役員」を加えると、55.5%となり、過半数以上が何らかの仕事についている有職者です。

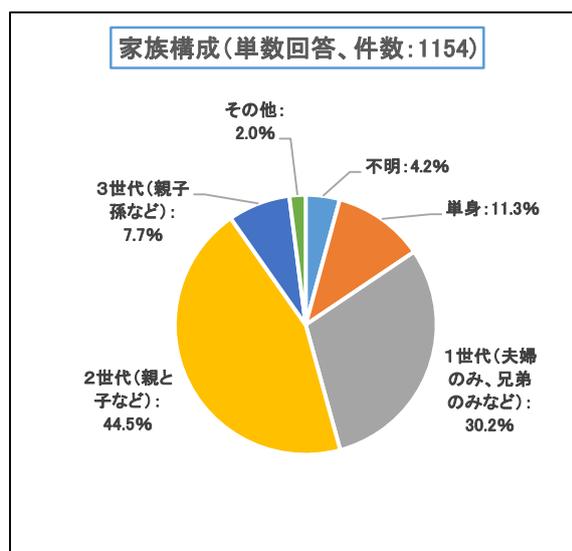


4 家族構成

2世代家族が大多数

家族構成については、「2世代家族(親と子など)」が44.5%で大多数を占めていますが、前回調査(47.7%)より減少しています。

逆に「単身」が7.2%から11.3%へ、「1世代家族(夫婦のみ、兄弟のみなど)」が23.1%から30.2%へ増加しています。

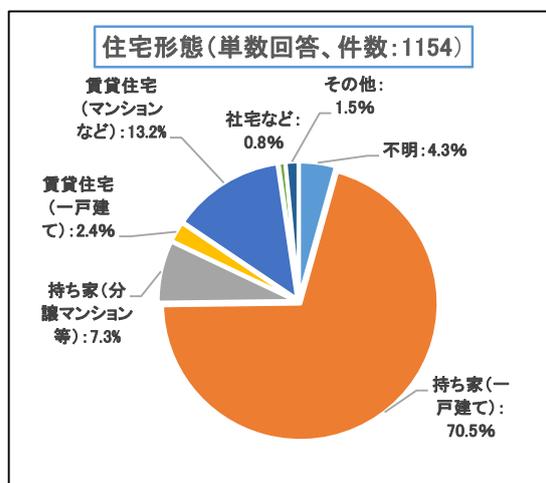


5 住宅形態

4分の3が持ち家

住宅は「持ち家（一戸建て）」が70.5%で大多数を占めており、「持ち家（分譲マンション等）」を加えた77.8%が持ち家で、約4分の3を占めています。

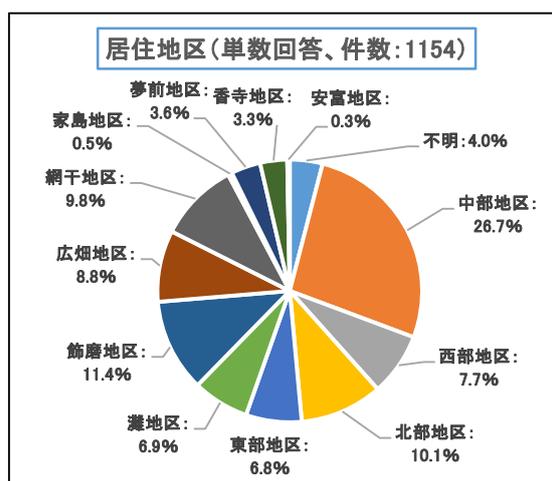
この状況は前回調査とほぼ同様となっています。



6 居住地区

合併で構成に変化が

今回の調査から、合併による旧4町（家島地区、夢前地区、香寺地区、安富地区）が新たに加わったため、前回調査と構成が変わっていますが、居住地区としては「中部地区」が26.7%で最も多く、これは前回調査と同じ状況です。



(参考)居住地区の振り分け

1 中部地区 城東 白鷺 城西 城乾 野里 東 船場 城陽 手柄 荒川	2 西部地区 青山 白鳥 曾左 峰相 太市 伊勢 林田	4 東部地区 花田 四郷 御国野 別所 谷外 谷内	6 飾磨地区 英賀保 津田 飾磨 高浜 妻鹿	8 網干地区 網干 網干西 余部 旭陽 勝原 大津茂	10 夢前地区 置塩 古知 前之庄 菅生 上菅 苅野
高岡 高岡西 安室 安室東	3 北部地区 城北 水上 増位 広峰 砥堀 豊富 山田 船津	5 灘地区 糸引 白浜 八木 的形 大塩	7 広畑地区 八幡 広畑 広畑第二 大津 南大津	9 家島地区 家島 坊勢	11 香寺地区 中寺 香呂 香呂南
					12 安富地区 安富南 安富北

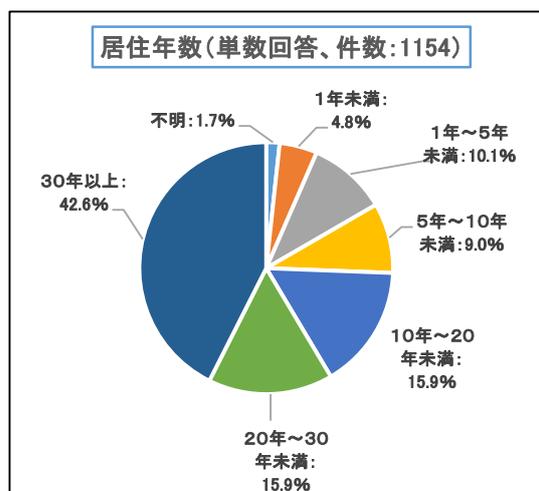
7 居住年数

30年以上が4割超

回答者の居住年数は、10年未満が23.9%で全体の4分の1弱なのに対し、30年以上が42.6%と4割以上を占めています。

居住地別に見ると、各地区とも「30年以上」居住している方が、大きな割合を占めていますが、その一方で、「10

年未満」の居住者については、「中部地区」(32.4%)、「東部地区」



(27.9%)、「飾磨地区」(26.0%)、「網干地区」(25.7%)が全体の割合(23.9%)より高くなっています。この傾向は前回調査とほぼ同じ状況です。

居住年数(居住地別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

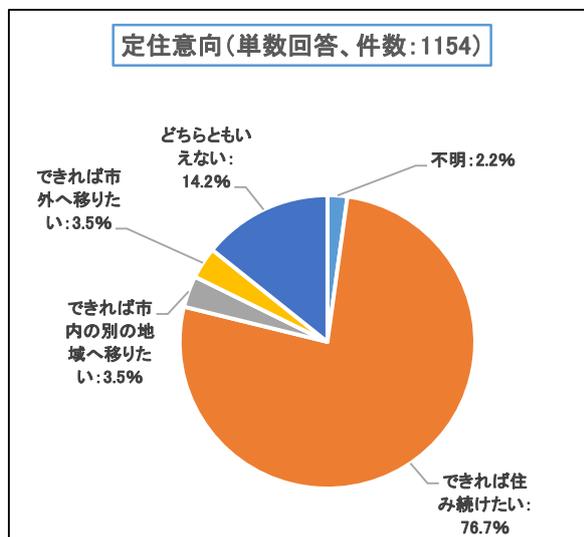
	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	不明	計
中部地区	25 8.1	42 13.6	33 10.7	50 16.2	45 14.6	105 34.1	8 2.6	308 100.0
西部地区	4 4.5	5 5.6	5 5.6	15 16.9	14 15.7	45 50.6	1 1.1	89 100.0
北部地区	5 4.3	12 10.3	5 4.3	15 12.9	17 14.7	62 53.4		116 100.0
東部地区	4 5.1	4 5.1	14 17.7	7 8.9	7 8.9	39 49.4	4 5.1	79 100.0
灘地区	1 1.3	8 10.0	3 3.8	19 23.8	11 13.8	38 47.5		80 100.0
飾磨地区	5 3.8	17 13.0	12 9.2	21 16.0	22 16.8	54 41.2		131 100.0
広畑地区	7 6.9	8 7.8	9 8.8	23 22.5	18 17.6	34 33.3	3 2.9	102 100.0
網干地区	3 2.7	13 11.5	13 11.5	22 19.5	21 18.6	41 36.3		113 100.0
家島地区		1 16.7		1 16.7		3 50.0	1 16.7	6 100.0
夢前地区		3 7.1	3 7.1	4 9.5	10 23.8	22 52.4		42 100.0
香寺地区			3 7.9	2 5.3	10 26.3	22 57.9	1 2.6	38 100.0
安富地区		1 25.0			2 50.0	1 25.0		4 100.0
不明	1 2.2	2 4.3	4 8.7	4 8.7	7 15.2	26 56.5	2 4.3	46 100.0
計	55 4.8	116 10.1	104 9.0	183 15.9	184 15.9	492 42.6	20 1.7	1,154 100.0

8 定住意向

4分の3は住み続けたい

居住者の定住意向は「できれば住み続けたい」が76.7%で、前回調査（73.9%）同様約4分の3と高い割合を占めています。

一方で、「どちらともいえない」が14.2%（前回調査 12.6%）もあり、定住意志が定まっていない回答者もあります。



定住意向については、過去の既存調査との比較においても、その傾向に大きな差は生じていませんが、「住み続けたい」が少しずつ増加し、「移りたい」が少しずつ減少しています。

定住意向の比較

今回調査	構成比	前回調査	構成比	平成10年9月調査	構成比
できれば住み続けたい	76.7%	できれば住み続けたい	73.9%	ずっと住み続けたい	43.3%
				できるなら住み続けたい	29.7%
				小計	73.0%
できれば市内の別の地域へ移りたい	3.5%	できれば市内の別の地域へ移りたい	6.4%	いずれは引っ越したい	14.2%
できれば市外へ移りたい	3.5%	できれば市外へ移りたい	3.9%	すぐにでも引っ越したい	2.1%
小計	7.0%	小計	10.3%	小計	16.3%
どちらともいえない	14.2%	どちらともいえない	12.6%	わからない	9.3%
不明	2.2%	不明	3.3%	不明	1.3%

年齢別の定住意向をみると、年齢が高くなるほど定住意向は高くなる傾向があります。一方で、20歳代から40歳代では「どちらともいえない」という、定住意向の定まっていない回答者が2割前後あり、他の年齢層に比べて多くなっています。これらは前回調査においても、ほぼ同じ傾向となっています。

定住意向(年齢別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	できれば 住み続け たい	できれば 市内の 別の地域へ 移りたい	できれば 市外へ 移りたい	どちらとも いえない	不明	計
20歳代	51	8	12	20		91
	56.0	8.8	13.2	22.0		100.0
30歳代	83	9	13	24	2	131
	63.4	6.9	9.9	18.3	1.5	100.0
40歳代	135	3	6	34	1	179
	75.4	1.7	3.4	19.0	0.6	100.0
50歳代	133	10	1	32	4	180
	73.9	5.6	0.6	17.8	2.2	100.0
60歳代	166	3	4	24	4	201
	82.6	1.5	2.0	11.9	2.0	100.0
70歳代	202	5	2	15	7	231
	87.4	2.2	0.9	6.5	3.0	100.0
80歳以上	89	1		7	2	99
	89.9	1.0	0.0	7.1	2.0	100.0
不明	26	1	2	8	5	42
	61.9	2.4	4.8	19.0	11.9	100.0
計	885	40	40	164	25	1,154
	76.7	3.5	3.5	14.2	2.2	100.0

居住地別の定住意向をみると、全体の「できれば住み続けたい」(76.7%)と比較すると、「東部地区」(82.3%)、「北部地区」(81.9%)において定住意向が高くなっています。この両地区は、前回調査においては全体より定住意向が若干低かった地区で変化が見られます。

今回から加わった、旧4町(家島地区、夢前地区、香寺地区、安富地区)

においては、「夢前地区」（88.1%）、「家島地区」（83.3%）で高く、「安富地区」（50.0%）、「香寺地区」（68.4%）で低くなっています。但し、「家島地区」、「安富地区」においては回答者数が少ないため、参考数値に留めるべきものと思われます。

定住意向(居住地別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	できれば 住み続け たい	できれば 市内の 別の地域へ 移りたい	できれば 市外へ 移りたい	どちらとも いえない	不明	計
中部地区	236	11	10	43	8	308
	76.6	3.6	3.2	14.0	2.6	100.0
西部地区	70	3	5	10	1	89
	78.7	3.4	5.6	11.2	1.1	100.0
北部地区	95	3	2	16		116
	81.9	2.6	1.7	13.8		100.0
東部地区	65	2	2	7	3	79
	82.3	2.5	2.5	8.9	3.8	100.0
灘地区	59	4	4	12	1	80
	73.8	5.0	5.0	15.0	1.3	100.0
飾磨地区	100	4	7	19	1	131
	76.3	3.1	5.3	14.5	0.8	100.0
広畑地区	74	5	3	15	5	102
	72.5	4.9	2.9	14.7	4.9	100.0
網干地区	86	4	3	19	1	113
	76.1	3.5	2.7	16.8	0.9	100.0
家島地区	5				1	6
	83.3				16.7	100.0
夢前地区	37	2		3		42
	88.1	4.8		7.1		100.0
香寺地区	26	1	1	9	1	38
	68.4	2.6	2.6	23.7	2.6	100.0
安富地区	2			2		4
	50.0			50.0		100.0
不明	30	1	3	9	3	46
	65.2	2.2	6.5	19.6	6.5	100.0
計	885	40	40	164	25	1,154
	76.7	3.5	3.5	14.2	2.2	100.0

Ⅱ 自治会などの地域団体への関わりについて

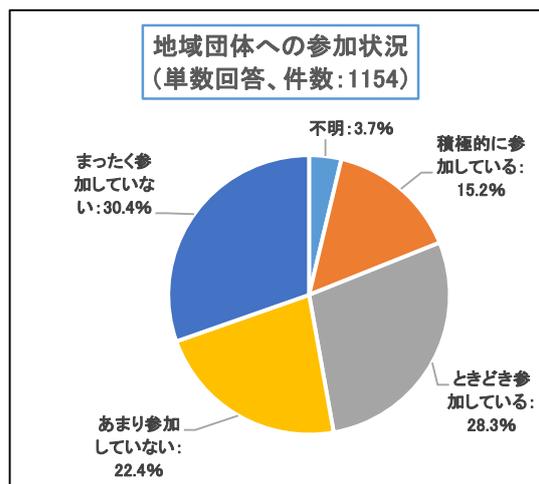
1 地域団体の活動への参加状況

4割強が地域団体の活動に参加

「積極的に参加している」（15.2%）、
「ときどき参加している」（28.3%）
を合わせると4割強（43.5%）が地域団体の活動に参加していると回答しています。

しかしこの割合は前回調査（58.3%）
と比して、大きく減少しています。逆に

「まったく参加していない」は前回の20.2%から30.4%へ大きく増加しています。



(注) この調査で「地域団体」とは、自治会をはじめとして、
婦人会、老人クラブ、PTA、子ども会、消防団など、
地域性の強い団体をいいます。

男性も地域団体の活動に「積極的に参加している」

性別の参加状況では、全体の「積極的に参加している」（15.2%）と比較すると、「男性」（17.1%）の回答が高く、男性も地域団体の活動に積極的な様子が見え、前回調査と同様の結果となっています。

地域団体への参加状況(性別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	積極的に 参加している	ときどき 参加している	あまり参加 していない	まったく参加 していない	不明	計
男性	79	136	103	137	6	461
	17.1	29.5	22.3	29.7	1.3	100.0
女性	85	172	137	200	19	613
	13.9	28.1	22.3	32.6	3.1	100.0
不明	11	19	18	14	18	80
	13.8	23.8	22.5	17.5	22.5	100.0
計	175	327	258	351	43	1,154
	15.2	28.3	22.4	30.4	3.7	100.0

20歳代、30歳代は地域団体の活動に消極的な傾向

年齢別の参加状況では、全体の「積極的に参加している」（15.2%）と「ときどき参加する」（28.3%）の合計（43.5%）と比較すると、「20歳代」（9.9%）、「30歳代」（34.4%）と低く、若い層は地域団体への参加に消極的のようで、前回調査と同様の結果となっています。

地域団体への参加状況（年齢別、単数回答）

上段：人数（人） 下段：割合（%）

	積極的に参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	不明	計
20歳代	4	5	16	65	1	91
	4.4	5.5	17.6	71.4	1.1	100.0
30歳代	12	33	21	65		131
	9.2	25.2	16.0	49.6		100.0
40歳代	33	55	30	61		179
	18.4	30.7	16.8	34.1		100.0
50歳代	17	60	45	54	4	180
	9.4	33.3	25.0	30.0	2.2	100.0
60歳代	31	73	55	38	4	201
	15.4	36.3	27.4	18.9	2.0	100.0
70歳代	55	66	64	35	11	231
	23.8	28.6	27.7	15.2	4.8	100.0
80歳以上	18	30	14	27	10	99
	18.2	30.3	14.1	27.3	10.1	100.0
不明	5	5	13	6	13	42
	11.9	11.9	31.0	14.3	31.0	100.0
計	175	327	258	351	43	1,154
	15.2	28.3	22.4	30.4	3.7	100.0

「東部地区」、「灘地区」は地域団体への参加が高い

居住地別の参加状況では、全体の「積極的に参加している」（15.2%）と「ときどき参加する」（28.3%）の合計（43.5%）と比較すると、「東部地区」（53.2%）、「灘地区」（52.5%）、「西部地区」（50.6%）は高く、旧4町（家島地区、夢前地区、香寺地区、安富地区）も高い数値になっています。

地域団体への参加状況（居住地別、単数回答）

上段：人数（人） 下段：割合（%）

	積極的に参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	不明	計
中部地区	39 12.7	68 22.1	69 22.4	127 41.2	5 1.6	308 100.0
西部地区	16 18.0	29 32.6	23 25.8	18 20.2	3 3.4	89 100.0
北部地区	19 16.4	39 33.6	22 19.0	34 29.3	2 1.7	116 100.0
東部地区	15 19.0	27 34.2	12 15.2	20 25.3	5 6.3	79 100.0
灘地区	10 12.5	32 40.0	16 20.0	21 26.3	1 1.3	80 100.0
飾磨地区	18 13.7	32 24.4	28 21.4	48 36.6	5 3.8	131 100.0
広畑地区	10 9.8	23 22.5	29 28.4	35 34.3	5 4.9	102 100.0
網干地区	17 15.0	39 34.5	30 26.5	27 23.9		113 100.0
家島地区	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3		6 100.0
夢前地区	13 31.0	17 40.5	4 9.5	8 19.0		42 100.0
香寺地区	9 23.7	13 34.2	9 23.7	3 7.9	4 10.5	38 100.0
安富地区	2 50.0	1 25.0	1 25.0			4 100.0
不明	6 13.0	5 10.9	14 30.4	8 17.4	13 28.3	46 100.0
計	175 15.2	327 28.3	258 22.4	351 30.4	43 3.7	1,154 100.0

「自営業」、「家事専業」は地域団体への参加が高い

職業別の参加状況では、全体の「積極的に参加している」（15.2%）と「ときどき参加する」（28.3%）の合計（43.5%）と比較すると、「自営業」（52.9%）、「家事専業」（51.7%）において5割を超える高い割合になって、前回調査と同様の結果となっています。

一方「学生」は、前回調査（24.0%）よりさらに割合が減って（12.6%）参加には消極的な状況です。

地域団体への参加状況（職業別、単数回答）

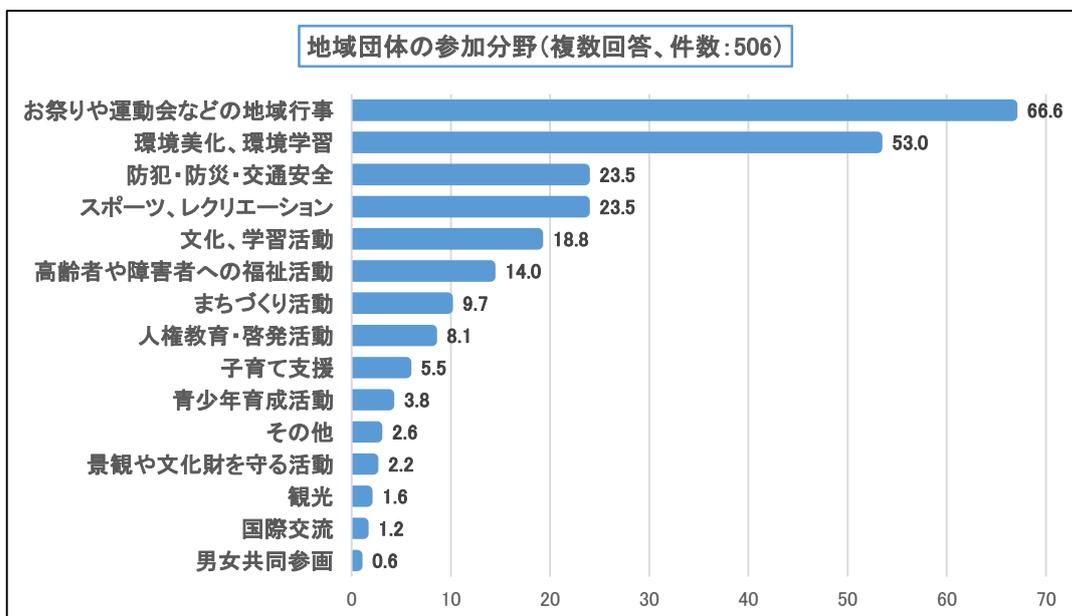
上段：人数（人） 下段：割合（%）

	積極的に参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	不明	計
農林水産業	5 50.0	5 50.0				10 100.0
自営業	13 18.6	24 34.3	16 22.9	17 24.3		70 100.0
正社員・職員	43 13.4	78 24.4	65 20.3	134 41.9		320 100.0
パート、アルバイト等	29 13.7	64 30.2	45 21.2	68 32.1	6 2.8	212 100.0
家事専業	35 17.4	69 34.3	43 21.4	45 22.4	9 4.5	201 100.0
学生	1 6.3	1 6.3	4 25.0	10 62.5		16 100.0
経営者、役員	3 10.7	9 32.1	10 35.7	4 14.3	2 7.1	28 100.0
無職	40 16.9	67 28.4	58 24.6	62 26.3	9 3.8	236 100.0
その他	1 7.7	3 23.1	2 15.4	4 30.8	3 23.1	13 100.0
不明	5 10.4	7 14.6	15 31.3	7 14.6	14 29.2	48 100.0
計	175 15.2	327 28.3	258 22.4	351 30.4	43 3.7	1,154 100.0

2 地域団体の活動参加分野

地域団体の活動は、「お祭りや運動会などの地域行事」、「環境美化、環境学習」など

地域団体の活動参加分野では、「お祭りや運動会などの地域行事」、「環境美化、環境学習」の分野が突出しており、「防犯・防災・交通安全」、「スポーツ、レクリエーション」、「文化、学習活動」と続きます。これら上位5位までは前回調査と同様です。



全ての年齢層で「お祭りや運動会などの地域行事」が第1位に

地域団体の活動参加分野で性別による大きな差異は生じていません。

年齢別の活動参加分野では、全ての年齢層で「お祭りや運動会などの地域行事」が第1位、「環境美化、環境学習」が第2位となっており、60歳代以上において第1位と第2位が逆転していた前回調査より、さらに突出した状況となっています。また、70歳代の第3位に「高齢者や障害者への福祉

活動」が入っています。

地域団体への参加分野(性別、複数回答、上位7位) 上段:人数(人) 下段:有効回答割合(ポイント)

	お祭りや運動会などの地域活動	環境美化、環境学習	防犯・防災・交通安全	スポーツ、レクリエーション	文化、学習活動	高齢者や障害者への福祉活動	まちづくり活動	全体計
男性	152	120	54	45	27	18	34	202
	75.2	59.4	26.7	22.3	13.4	8.9	16.8	
女性	170	136	60	64	58	44	14	269
	63.2	50.6	22.3	23.8	21.6	16.4	5.2	
不明	15	12	5	10	10	9	1	35
	42.9	34.3	14.3	28.6	28.6	25.7	2.9	
計	337	268	119	119	95	71	49	506
	66.6	53.0	23.5	23.5	18.8	14.0	9.7	

地域団体への参加分野(年齢別、複数回答、上位5位)

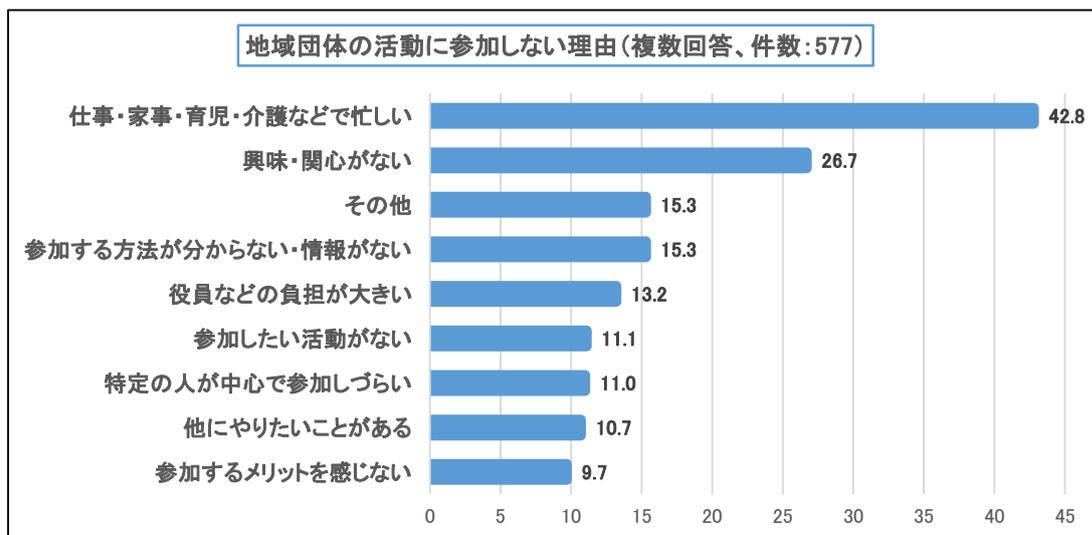
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代	お祭りや運動会などの地域活動	環境美化、環境学習	スポーツ、レクリエーション		
30歳代	お祭りや運動会などの地域活動	環境美化、環境学習	スポーツ、レクリエーション	防犯・防災・交通安全	文化、学習活動
40歳代	お祭りや運動会などの地域活動	環境美化、環境学習	防犯・防災・交通安全	スポーツ、レクリエーション	文化、学習活動
50歳代	お祭りや運動会などの地域活動	環境美化、環境学習	スポーツ、レクリエーション	防犯・防災・交通安全	文化、学習活動
60歳代	お祭りや運動会などの地域活動	環境美化、環境学習	防犯・防災・交通安全	文化、学習活動	スポーツ、レクリエーション
70歳代	お祭りや運動会などの地域活動	環境美化、環境学習	高齢者や障害者への福祉活動	スポーツ、レクリエーション	文化、学習活動
80歳代以上	お祭りや運動会などの地域活動	環境美化、環境学習	スポーツ、レクリエーション	文化、学習活動	防犯・防災・交通安全

3 地域団体の活動に参加しない理由

地域団体の活動に参加しない理由は「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」

地域団体の活動に参加しない理由は、「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」が突出して第1位です。続いて第2位は「興味・関心がない」で、これは同義の「参加する時間がない」が第1位、「全く興味がない」が第2位だった前回調査と同様となっています。

「その他」としては、「高齢」や「病気」など身体的理由によるものが大半となっています。



高齢者層では「興味・関心がない」の割合が高い

性別にみると、男女の間で傾向の差はほとんど無く、順位も同様です。

年齢別では、ほぼ全ての年齢層で「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」が第1位となっており、この傾向は特に若い層で突出しています。逆に高齢層では、「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」より「興味・関心がない」の割合が高くなっており、「70歳代」、「80歳以上」では第1位

となっています。また理由も各項目に緩やかに分布しています。

地域団体の活動に不参加理由(性別、年齢別、複数回答)

上段:人数(人) 下段:有効回答割合(ポイント)

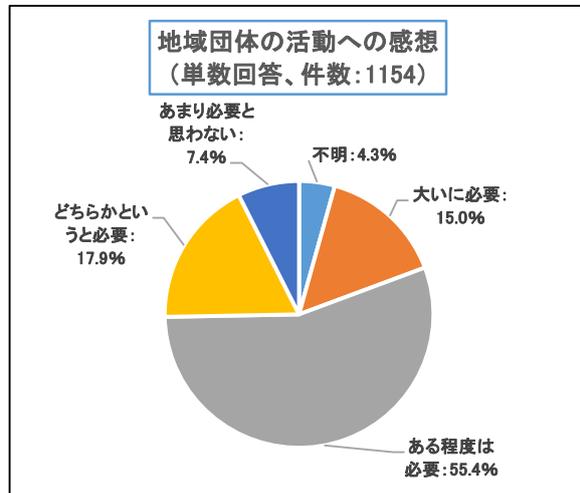
	仕事・家事・育児・介護などで忙しい	参加したい活動がない	特定の人を中心に参加しづらい	役員などの負担が大きい	他にやりたいことがある	参加するメリットを感じない	興味・関心がない	参加する方法が分からない・情報がない	その他	全体計
男性	82	25	27	32	28	28	71	38	34	231
	35.5	10.8	11.7	13.9	12.1	12.1	30.7	16.5	14.7	
女性	153	36	34	40	33	27	77	49	48	306
	50.0	11.8	11.1	13.1	10.8	8.8	25.2	16.0	15.7	
不明	12	3	3	4	1	1	6	1	6	40
	30.0	7.5	7.5	10.0	2.5	2.5	15.0	2.5	15.0	
計	247	64	64	76	62	56	154	88	88	577
	42.8	11.1	11.1	13.2	10.7	9.7	26.7	15.3	15.3	
20歳代	43	12	4	8	11	7	26	15	6	46
	93.5	26.1	8.7	17.4	23.9	15.2	56.5	32.6	13.0	
30歳代	38	10	6	11	7	12	24	21	9	66
	57.6	15.2	9.1	16.7	10.6	18.2	36.4	31.8	13.6	
40歳代	39	9	12	14	4	10	25	17	18	89
	43.8	10.1	13.5	15.7	4.5	11.2	28.1	19.1	20.2	
50歳代	46	5	12	12	4	7	23	12	15	90
	51.1	5.6	13.3	13.3	4.4	7.8	25.6	13.3	16.7	
60歳代	45	9	9	16	15	6	16	12	10	100
	45.0	9.0	9.0	16.0	15.0	6.0	16.0	12.0	10.0	
70歳代	21	15	15	10	19	11	26	10	8	115
	18.3	13.0	13.0	8.7	16.5	9.6	22.6	8.7	7.0	
80歳以上	7	1	5	3	1	2	10	1	20	50
	14.0	2.0	10.0	6.0	2.0	4.0	20.0	2.0	40.0	
不明	8	3	1	2	1	1	4		2	21
	38.1	14.3	4.8	9.5	4.8	4.8	19.0	0.0	9.5	

4 地域団体の活動への感想

8割が地域団体の活動は必要

比重の差はあっても、地域団体の活動が必要と考える回答者は約8割を占めています。これは、前回調査と同様です。

また、「あまり必要とは思わない」は7.4%で前回調査（4.9%）より増加しています。



「大いに必要」は男性に多い

性別にみると、「大いに必要」の回答について「男性」（18.0%）は、「女性」（12.7%）より高くなっています。

地域団体の活動に対する感想(性別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	大いに必要	ある程度は必要	どちらかという必要	あまり必要とは思わない	不明	計
男性	83	236	89	42	11	461
	18.0	51.2	19.3	9.1	2.4	100.0
女性	78	369	109	36	21	613
	12.7	60.2	17.8	5.9	3.4	100.0
不明	12	34	9	7	18	80
	15.0	42.5	11.3	8.8	22.5	100.0
計	173	639	207	85	50	1,154
	15.0	55.4	17.9	7.4	4.3	100.0

若年層は地域団体の活動に消極的

年齢別にみると、「あまり必要とは思わない」の回答は若い層に多く、前回調査と比較しても、「20歳代」が5.9%から11.0%へ、「30歳代」が6.4%から11.5%へ増加しています。逆に高齢層においては関心が高く、60歳代以上において、「大いに必要」、「ある程度は必要」の合計は7割を超える高い割合になっています。この傾向は前回調査とほぼ同様です。

地域団体の活動に対する感想(年齢別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	大いに必要	ある程度は必要	どちらかという必要	あまり必要とは思わない	不明	計
20歳代	8	40	32	10	1	91
	8.8	44.0	35.2	11.0	1.1	100.0
30歳代	9	81	26	15		131
	6.9	61.8	19.8	11.5		100.0
40歳代	13	112	40	12	2	179
	7.3	62.6	22.3	6.7	1.1	100.0
50歳代	26	97	37	15	5	180
	14.4	53.9	20.6	8.3	2.8	100.0
60歳代	35	123	26	10	7	201
	17.4	61.2	12.9	5.0	3.5	100.0
70歳代	50	128	32	11	10	231
	21.6	55.4	13.9	4.8	4.3	100.0
80歳以上	29	42	9	6	13	99
	29.3	42.4	9.1	6.1	13.1	100.0
不明	3	16	5	6	12	42
	7.1	38.1	11.9	14.3	28.6	100.0
計	173	639	207	85	50	1,154
	15.0	55.4	17.9	7.4	4.3	100.0

5 地域団体の活動の今後のあり方

地域団体の活動の後は消極的

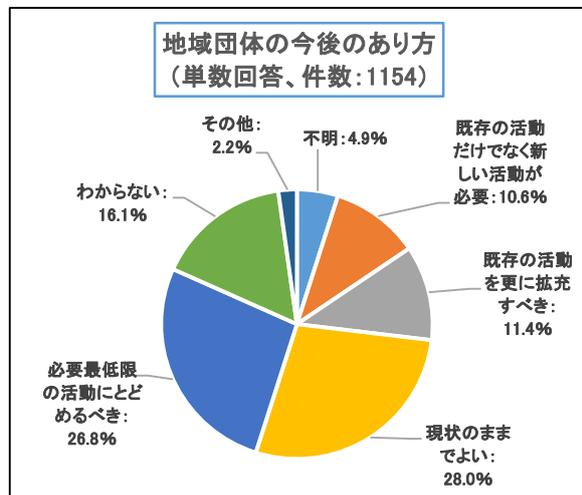
地域団体の今後のあり方では、「既存活動だけでなく新しい活動が必要」(10.6%)、「既存の活動をさらに拡充すべき」(11.4%)の合計は22.0%で、前回調査(40.1%)より大幅に減少しました。

逆に、「現状のままでよい」(28.0%)、「必要最低限の活動にとどめるべき」(26.8%)の合計は54.8%となり、前回調査(41.8%)より増加しています。

性別に見ると、「男性」の方が「女性」よりも、現状よりも活動の充実を求める意見の割合が高くなっており、前回調査と同様の傾向です。

年齢別にみると、「既存活動だけでなく新しい活動が必要」においては、「80歳以上」を除く各年齢層で、「既存の活動をさらに拡充すべき」においては、全ての年齢層で前回調査より低くなっています。逆に、「必要最低限の活動にとどめるべき」は、「80歳以上」を除く各年齢層で、前回調査より増加しています。

また「わからない」という回答は、「20歳代」(22.0%)、「30歳代」(24.4%)と若い層に多く見られます。



地域団体の活動の今後のあり方(性別、年齢別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

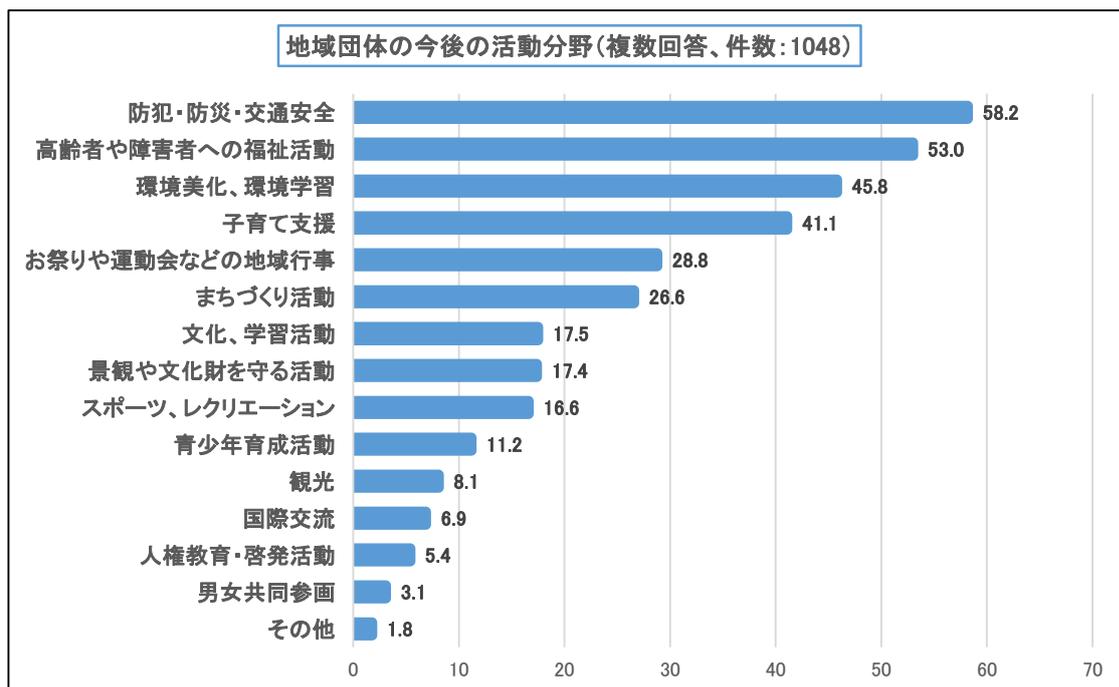
	既存の活動 だけでなく 新しい活動 が必要	既存の活動 をさらに拡充 すべき	現状のまま でよい	必要最低限 の活動にと どめるべき	わからない	その他	不明	計
男性	56	68	125	132	54	15	11	461
	12.1	14.8	27.1	28.6	11.7	3.3	2.4	100.0
女性	58	54	180	162	121	9	29	613
	9.5	8.8	29.4	26.4	19.7	1.5	4.7	100.0
不明	8	10	18	15	11	1	17	80
	10.0	12.5	22.5	18.8	13.8	1.3	21.3	100.0
計	122	132	323	309	186	25	57	1,154
	10.6	11.4	28.0	26.8	16.1	2.2	4.9	100.0
20歳代	13	8	25	25	20			91
	14.3	8.8	27.5	27.5	22.0			100.0
30歳代	7	11	28	46	32	7		131
	5.3	8.4	21.4	35.1	24.4	5.3		100.0
40歳代	16	11	43	70	28	5	6	179
	8.9	6.1	24.0	39.1	15.6	2.8	3.4	100.0
50歳代	17	16	51	59	27	5	5	180
	9.4	8.9	28.3	32.8	15.0	2.8	2.8	100.0
60歳代	24	32	62	46	27	5	5	201
	11.9	15.9	30.8	22.9	13.4	2.5	2.5	100.0
70歳代	25	34	77	44	35	2	14	231
	10.8	14.7	33.3	19.0	15.2	0.9	6.1	100.0
80歳 以上	17	18	29	7	12	1	15	99
	17.2	18.2	29.3	7.1	12.1	1.0	15.2	100.0
不明	3	2	8	12	5		12	42
	7.1	4.8	19.0	28.6	11.9		28.6	100.0

6 地域団体の今後の活動分野

地域団体の活動の3本柱「防犯・防災・交通安全」、「高齢者や障害者への福祉活動」、「環境美化、環境学習」

地域団体の今後の活動分野では、第1位が「防犯・防災・交通安全」、第2位が「高齢者や障害者への福祉活動」、第3位が「環境美化、環境学習」となっており、第2位と第3位が前回調査と逆転していますが、この3つが引き続き高い数値となっています。

また、「子育て支援」が前回の第6位（28.5ポイント）から第4位（41.1ポイント）へ上昇しています。



「性別」、「年齢別」によって考え方に差が

性別に見ると、「男性」、「女性」とも第1位は「防犯・防災・交通安全」となっており、第2位は「男性」が「環境美化、環境学習」、「女性」

が「高齢者や障害者への福祉活動」となっています。

年齢別にみると、「20歳代」、「30歳代」の第1位は「子育て支援」、
「70歳代」、「80歳以上」の第1位は「高齢者や障害者への福祉活動」
となっており、世代間で考え方に差が出ています。

地域団体の今後の活動分野(性別、年齢別、複数回答、上位5位)

上段:人数(人) 下段:有効回答割合(ポイント)

	防犯・防災、 交通安全	高齢者や 障害者への 福祉活動	環境美化、 環境学習	子育て支援	お祭りや運 動会などの 地域行事	全体計
男性	243	199	204	151	149	419
	58.0	47.5	48.7	36.0	35.6	
女性	342	316	249	270	138	557
	61.4	56.7	44.7	48.5	24.8	
不明	25	40	27	10	15	72
	34.7	55.6	37.5	13.9	20.8	
計	610	555	480	431	302	1,048
	58.2	53.0	45.8	41.1	28.8	
20歳代	48	30	32	57	32	83
	57.8	36.1	38.6	68.7	38.6	
30歳代	65	46	56	70	32	119
	54.6	38.7	47.1	58.8	26.9	
40歳代	108	73	71	81	49	162
	66.7	45.1	43.8	50.0	30.2	
50歳代	106	92	76	75	41	164
	64.6	56.1	46.3	45.7	25.0	
60歳代	110	103	93	77	55	182
	60.4	56.6	51.1	42.3	30.2	
70歳代	116	142	100	53	61	210
	55.2	67.6	47.6	25.2	29.0	
80歳 以上	47	53	36	12	26	90
	52.2	58.9	40.0	13.3	28.9	
不明	10	16	16	6	6	38
	26.3	42.1	42.1	15.8	15.8	

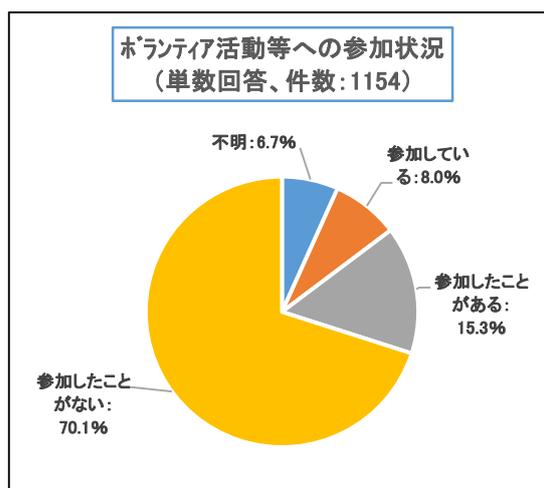
Ⅲ ボランティア活動やNPOへの関わりについて

1 ボランティア活動やNPO活動への参加状況

4分の1弱がボランティア活動やNPO活動の参加経験あり

「参加している」(8.0%)、「参加したことがある」(15.3%)を合わせると4分の1弱(23.3%)がボランティア活動やNPO活動への参加経験があります。

一方で、約7割の人が、全く参加経験がなく、これらの傾向は前回調査とほぼ同様です。



性別に見ると、前回調査同様「女性」の方が若干参加経験は高くなっています。

ボランティア団体等への参加状況(性別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	参加している	参加したことがある	参加したことがない	不明	計
男性	34	65	347	15	461
	7.4	14.1	75.3	3.3	100.0
女性	53	104	423	33	613
	8.6	17.0	69.0	5.4	100.0
不明	5	7	39	29	80
	6.3	8.8	48.8	36.3	100.0
計	92	176	809	77	1,154
	8.0	15.3	70.1	6.7	100.0

60歳代、70歳代が中心的な担い手

年齢別にみると、「参加している」、「参加したことがある」の全体合計23.3%と比較して「60歳代」（31.8%）、「70歳代」（32.0%）と参加経験が高くなっています。

また、「20歳代」（23.1%）も参加経験が十分にあり、地域団体の活動には消極的であっても、ボランティア活動やNPO活動については積極的な参加姿勢がうかがえます。これらの傾向は前回調査とほぼ同様です。

ボランティア団体等への参加状況（年齢別、単数回答）

上段：人数（人） 下段：割合（%）

	参加している	参加したことがある	参加したことがない	不明	計
20歳代	3	18	70		91
	3.3	19.8	76.9		100.0
30歳代	1	13	116	1	131
	0.8	9.9	88.5	0.8	100.0
40歳代	6	24	148	1	179
	3.4	13.4	82.7	0.6	100.0
50歳代	5	33	136	6	180
	2.8	18.3	75.6	3.3	100.0
60歳代	25	39	130	7	201
	12.4	19.4	64.7	3.5	100.0
70歳代	40	34	129	28	231
	17.3	14.7	55.8	12.1	100.0
80歳以上	7	12	64	16	99
	7.1	12.1	64.6	16.2	100.0
不明	5	3	16	18	42
	11.9	7.1	38.1	42.9	100.0
計	92	176	809	77	1,154
	8.0	15.3	70.1	6.7	100.0

職業別にみると、「参加している」、「参加したことがある」の全体合計23.3%と比較して「農林水産業」（50.0%）、「家事専業」（30.3%）、「自営業」（25.7%）の参加経験が高くなっています。この傾向は前回調査とほぼ同様です。

一方、前回調査で参加経験が高かった「学生」（34.0%）が今回は12.6%と低迷しています。

ボランティア団体等への参加状況(職業別、単数回答) 上段:人数(人) 下段:割合(%)

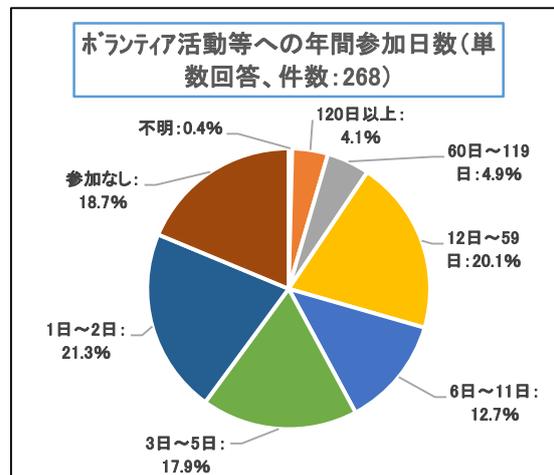
	参加している	参加したことがある	参加したことがない	不明	計
農林水産業	3 30.0	2 20.0	5 50.0		10 100.0
自営業	5 7.1	13 18.6	48 68.6	4 5.7	70 100.0
正社員・職員	11 3.4	57 17.8	249 77.8	3 0.9	320 100.0
パート、アルバイト等	14 6.6	26 12.3	165 77.8	7 3.3	212 100.0
家事専業	28 13.9	33 16.4	128 63.7	12 6.0	201 100.0
学生	1 6.3	1 6.3	14 87.5		16 100.0
経営者、役員	1 3.6	6 21.4	18 64.3	3 10.7	28 100.0
無職	23 9.7	33 14.0	152 64.4	28 11.9	236 100.0
その他	1 7.7	2 15.4	8 61.5	2 15.4	13 100.0
不明	5 10.4	3 6.3	22 45.8	18 37.5	48 100.0
計	92 8.0	176 15.3	809 70.1	77 6.7	1,154 100.0

2 ボランティア活動やNPO活動の範囲

参加者の4分の1強は月1回以上の割合で参加

ボランティア活動やNPO活動へのこの一年間の参加日数は、「1日～2日」が21.3%で第1位ですが、12日以上が合計29.1%と4分の1強を占めています。これらの傾向は前回調査と同様です。

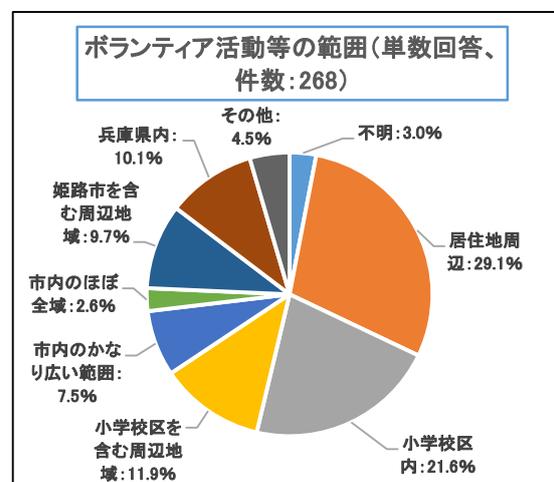
また「120日以上」が前回調査(3.8%)から4.1%へ増加しています。



約6割が身近な範囲での活動に参加

ボランティア活動やNPO活動の範囲は、前回調査同様「居住地周辺」が29.1%で第1位です。これに「小学校区内」(21.6%)、「小学校区を含む周辺地域」(11.9%)を合わせた身近な範囲が約6割(62.6%)となっています。

「その他」の回答では、東日本大震災へのボランティア活動などがありました。

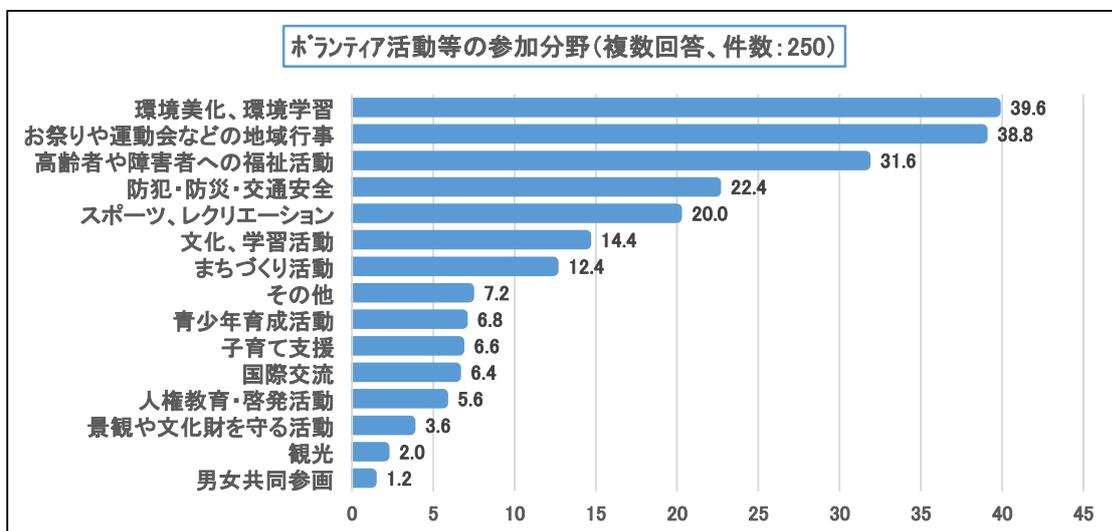


3 ボランティア活動やNPO活動の分野

ボランティア活動やNPO活動の参加分野は、「環境美化、環境学習」、「お祭りや運動会などの地域行事」など

ボランティア活動やNPO活動の参加分野では、第1位が「環境美化、環境学習」（39.6ポイント）、第2位が「お祭りや運動会などの地域行事」（38.8ポイント）、第3位が「高齢者や障害者への福祉活動」（31.6ポイント）と前回調査とは第2位と第3位が逆転していますが、引き続き上位3位は突出しており、30ポイントを超えています。

上位5位を見てみると、前回調査第5位だった「文化、学習活動」が第6位に順位を下げ、第6位だった「スポーツ、レクリエーション」が第5位に上がっています。



男性は「環境美化、環境学習」、女性は「高齢者や障害者への福祉活動」

性別にみると、「男性」は、第1位が「環境美化、環境学習」（40.8ポイント）、第2位が「お祭りや運動会などの地域行事」（36.7ポイント）

、第3位が「防犯・防災・交通安全」（22.4ポイント）となっています。

一方「女性」は第1位が「高齢者や障害者への福祉活動」（42.9ポイント）、そして「お祭りや運動会などの地域行事」が「環境美化、環境学習」とともに第2位（41.4ポイント）となっており、男女間で少し差が出ています。

年齢別にみると、参加分野についての大きな差は生じていません。

ボランティア活動等の参加分野（性別、年齢別、複数回答、上位5位）

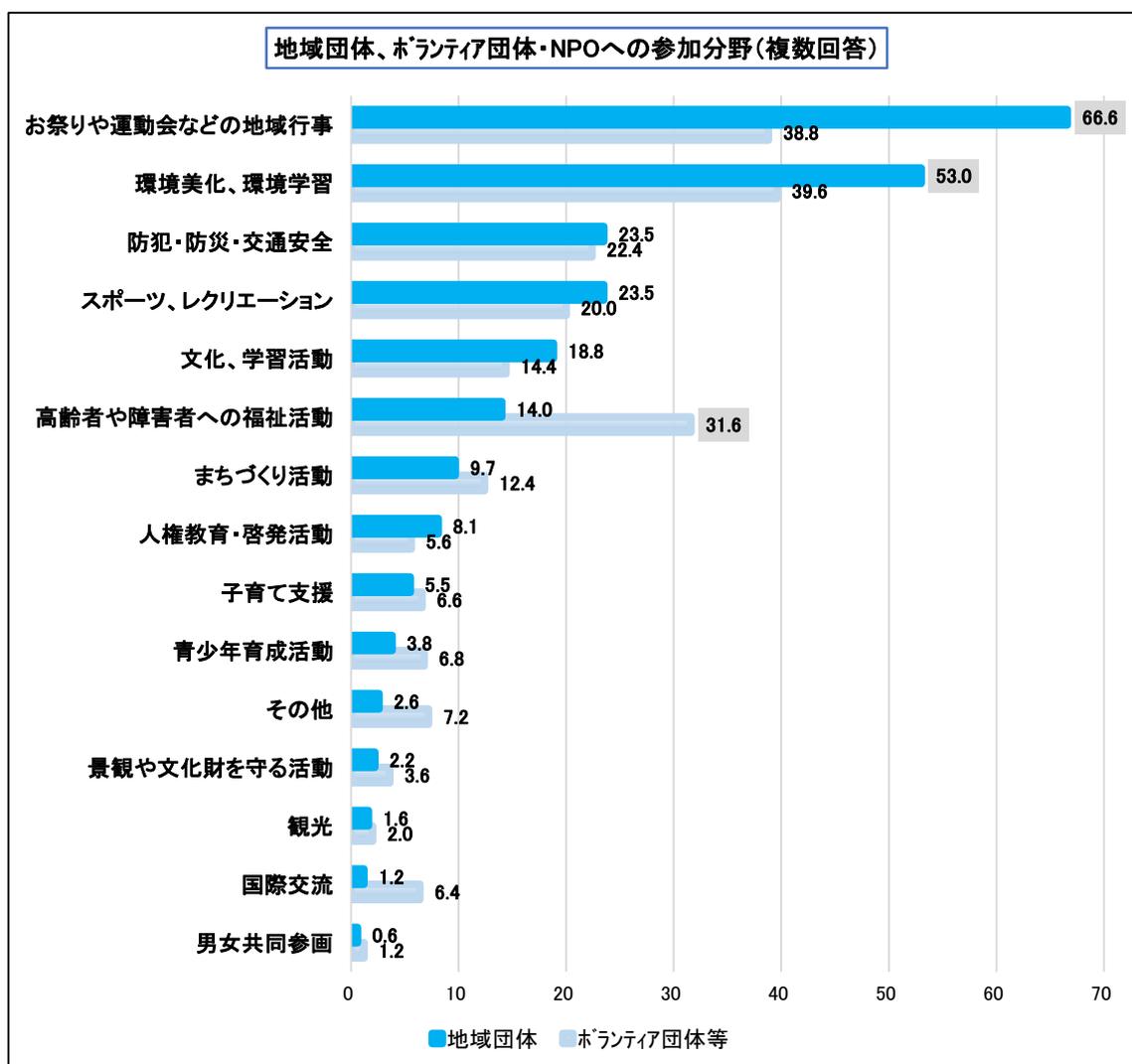
上段：人数（人） 下段：有効回答割合（ポイント）

	環境美化、 環境学習	お祭りや 運動会などの 地域行事	高齢者や 障害者への 福祉活動	防犯・防災 、交通安全	スポーツ、 レクリエーション	全体計
男性	40	36	18	22	21	98
	40.8	36.7	18.4	22.4	21.4	
女性	55	55	57	30	25	133
	41.4	41.4	42.9	22.6	18.8	
不明	4	6	4	4	4	19
	21.1	31.6	21.1	21.1	21.1	
計	99	97	79	56	50	250
	39.6	38.8	31.6	22.4	20.0	
20歳代	6	6	3	1	2	20
	30.0	30.0	15.0	5.0	10.0	
30歳代	3	4	2	1	3	29
	10.3	13.8	6.9	3.4	10.3	
40歳代	14	12	6	3	7	39
	35.9	30.8	15.4	7.7	17.9	
50歳代	11	12	8	7	11	38
	28.9	31.6	21.1	18.4	28.9	
60歳代	22	20	19	16	9	44
	50.0	45.5	43.2	36.4	20.5	
70歳代	31	34	31	22	13	50
	62.0	68.0	62.0	44.0	26.0	
80歳 以上	9	7	6	4	3	22
	40.9	31.8	27.3	18.2	13.6	
不明	3	2	4	2	2	8
	37.5	25.0	50.0	25.0	25.0	

「地域団体の活動」と「ボランティア団体・NPOの活動」の参加内容に差が

地域団体の活動とボランティア団体・NPOの活動について、参加状況に大きな差が見られます。

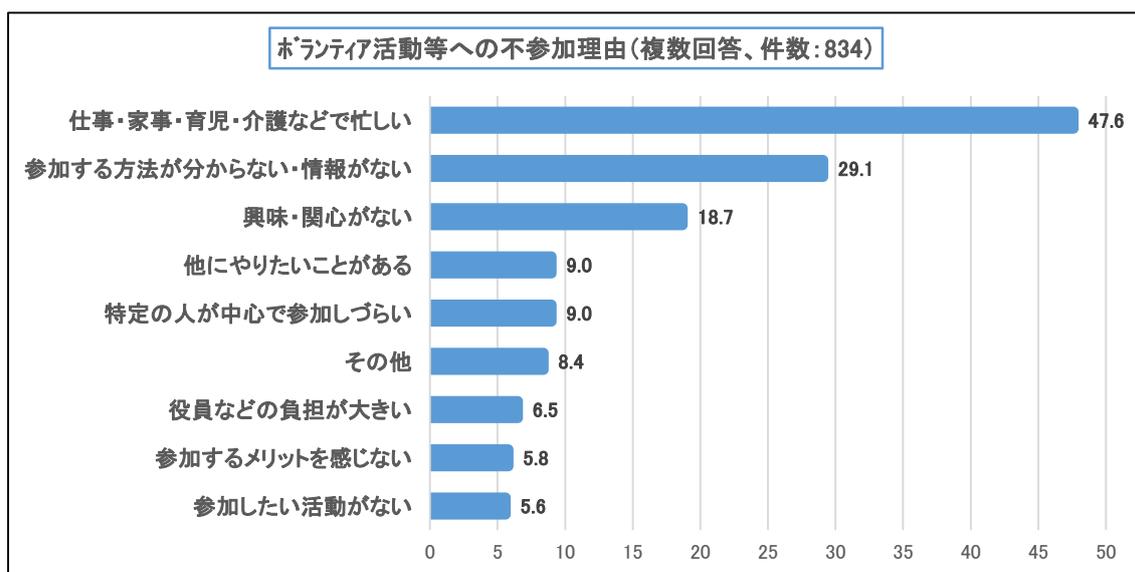
地域団体の活動で突出していた「お祭りや運動会などの地域行事」と「環境美化、環境学習」は、ボランティア活動等の参加分野においては順位こそ第1位、第2位ですが、第3位以下と差は縮まっています。またボランティア活動等の参加分野第3位の「高齢者や障害者への福祉活動」が地域団体の活動分野では第6位と低くなっています。



4 ボランティア活動やNPO活動に参加しない理由

ボランティア活動やNPO活動に参加しない理由は「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」

ボランティア活動やNPO団体の活動に参加しない理由は、「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」が突出して第1位です。これは、地域団体の活動に参加しない理由の第1位と同様で、前回調査でのほぼ同意義の「参加する時間がない」と同じ状況です。続いては、地域団体の活動に参加しない理由の第4位だった「参加する方法がわからない・情報がない」が第2位に入っています。



女性は「忙しい」、男性は「やりたいことがある」

性別にみると、傾向に大きな差はありませんが、「女性」の第1位の「仕事・家事・育児・介護などで忙しい」は50ポイントを超えています。「男性」は、「他にやりたいことがある」が11.7ポイントで「女性」の7.2ポイントより高くなっています。

「参加する方法がわからない・情報がない」は前回調査同様に高い割合

年齢別にみると、30歳代から70歳代までで「参加する方法がわからない・情報がない」が第2位に入っています。前回調査でも「参加する方法がわからない」の回答が第3位でした。

ボランティア活動等の不参加理由(性別、年齢別、複数回答、上位5位)

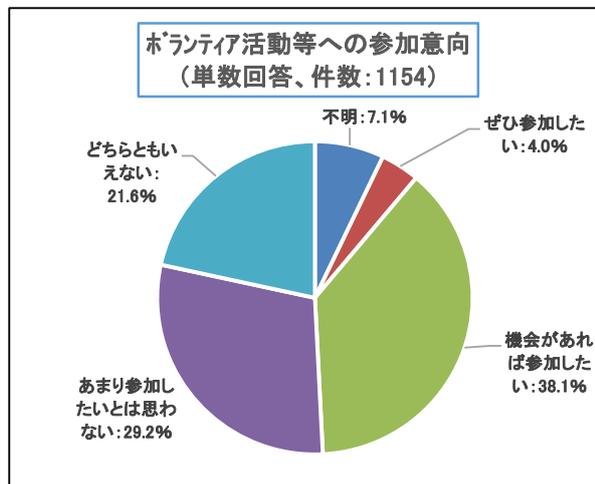
上段:人数(人) 下段:有効回答割合(ポイント)

	仕事・家事・ 育児・介護な どで忙しい	参加する方 法が分から ない・情報が ない	興味・関心が ない	他にやりたい ことがある	特定の人が 中心で参加 しづらい	全体計
男性	155	88	88	39	30	333
	46.5	26.4	26.4	11.7	9.0	
女性	226	147	63	32	37	443
	51.0	33.2	14.2	7.2	8.4	
不明	16	8	5	4	8	58
	27.6	13.8	8.6	6.9	13.8	
計	397	243	156	75	75	834
	47.6	29.1	18.7	9.0	9.0	
20歳代	41	19	22	10		66
	62.1	28.8	33.3	15.2	0.0	
30歳代	63	41	30	8	10	95
	66.3	43.2	31.6	8.4	10.5	
40歳代	82	48	20	10	6	129
	63.6	37.2	15.5	7.8	4.7	
50歳代	85	39	27	8	14	130
	65.4	30.0	20.8	6.2	10.8	
60歳代	68	41	21	17	10	145
	46.9	28.3	14.5	11.7	6.9	
70歳代	40	38	24	15	22	167
	24.0	22.8	14.4	9.0	13.2	
80歳 以上	10	14	9	5	9	72
	13.9	19.4	12.5	6.9	12.5	
不明	8	3	3	2	4	30
	26.7	10.0	10.0	6.7	13.3	

5 ボランティア活動やNPO活動への参加意向

4割強がボランティア活動やNPO活動への参加を希望

「ぜひ参加したい」（4.0%）と「機会があれば参加したい」（38.1%）を合わせると42.1%がボランティア活動やNPO活動への参加を希望しています。これは前回調査の54.9%よりも大きく減少しており、逆に、「あまり参加したいとは思わない」が、前回調査の21.6%から29.2%へと増加しています。



性別にみると、「女性」の方が参加意向が若干高くなっています。

ボランティア活動等への参加意向(性別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	ぜひ参加したい	機会があれば参加したい	あまり参加したいとは思わない	どちらともいえない	不明	計
男性	17	165	160	92	27	461
	3.7	35.8	34.7	20.0	5.9	100.0
女性	24	251	154	145	39	613
	3.9	40.9	25.1	23.7	6.4	100.0
不明	5	24	23	12	16	80
	6.3	30.0	28.8	15.0	20.0	100.0
計	46	440	337	249	82	1,154
	4.0	38.1	29.2	21.6	7.1	100.0

ボランティア活動やNPO活動への参加意欲は高い

年齢別にみると、全体の「ぜひ参加したい」（4.0%）と「機会があれば参加したい」（38.1%）を合わせた42.1%と比較して「20歳代」（48.4%）、「40歳代」（45.2%）、「50歳代」（47.2%）、「60歳代」（47.8%）について、参加意欲が強く、これは前回調査と同じ傾向です。

特に「20歳代」は、地域団体活動においては、「あまり必要とは思わない」が前回調査より倍増しているにもかかわらず、ボランティア活動やNPO活動への参加意欲が高くなっています。

ボランティア活動等への参加意向（年齢別、単数回答）

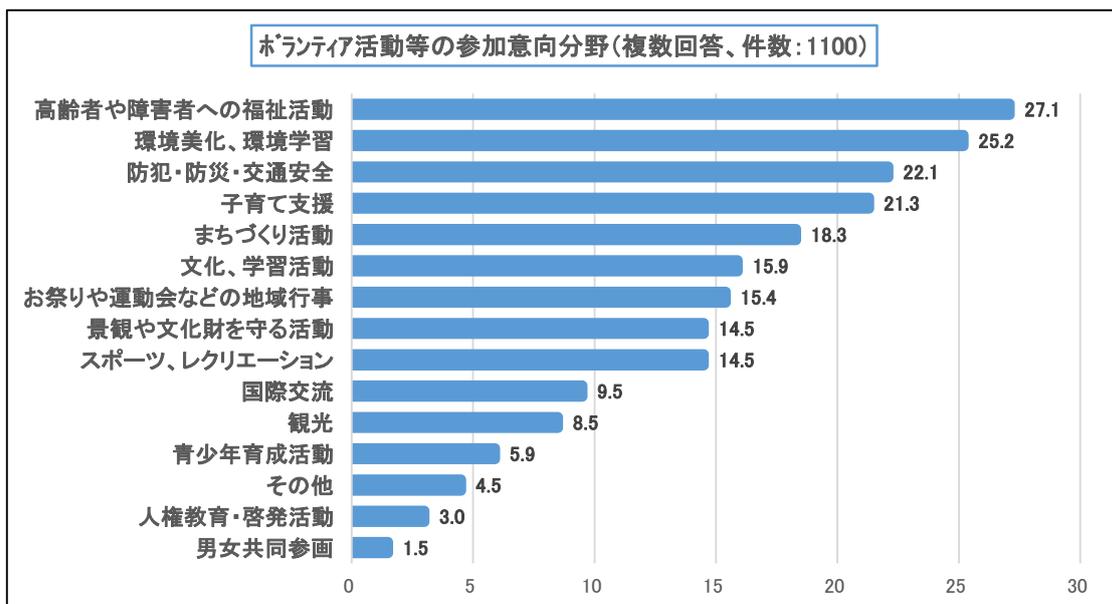
上段：人数（人） 下段：割合（%）

	ぜひ参加 したい	機会があ れば参加 したい	あまり参加 したいとは 思わない	どちらとも いえない	不明	計
20歳代	6	38	32	14	1	91
	6.6	41.8	35.2	15.4	1.1	100.0
30歳代	2	37	59	28	5	131
	1.5	28.2	45.0	21.4	3.8	100.0
40歳代	7	74	50	45	3	179
	3.9	41.3	27.9	25.1	1.7	100.0
50歳代	5	80	47	46	2	180
	2.8	44.4	26.1	25.6	1.1	100.0
60歳代	9	87	48	37	20	201
	4.5	43.3	23.9	18.4	10.0	100.0
70歳代	9	94	52	55	21	231
	3.9	40.7	22.5	23.8	9.1	100.0
80歳以上	5	20	36	17	21	99
	5.1	20.2	36.4	17.2	21.2	100.0
不明	3	10	13	7	9	42
	7.1	23.8	31.0	16.7	21.4	100.0
計	46	440	337	249	82	1,154
	4.0	38.1	29.2	21.6	7.1	100.0

6 参加してみたいボランティア活動やNPO活動の分野

参加してみたいボランティア活動等の分野は「高齢者や障害者への福祉活動」、「環境美化、環境学習」

参加してみたいボランティア活動やNPO活動の分野では、第1位が「高齢者や障害者への福祉活動」（27.1ポイント）、第2位は「環境美化、環境学習」（25.2ポイント）、第3位は「防犯・防災・交通安全」（22.1ポイント）と続いており、上位3位は前回調査と同様です。第4位には前回調査第6位（15.8ポイント）だった「子育て支援」が21.3ポイントで入っています。



男性は「防犯・防災・交通安全」、女性は「高齢者や障害者への福祉活動」

性別にみると、「男性」は「防犯・防災・交通安全」（27.1ポイント）や「環境美化、環境学習」（25.5ポイント）と社会的な面で、「女性」は「高齢者や障害者への福祉活動」（29.6ポイント）や「子育て支援」（27.0ポイント）と人的な面での参加意向が高くなっています。

「子育て支援」の割合が高く

年齢別にみると、前回調査と大きく変わって、「子育て支援」が「30歳代」（38.4ポイント）、「40歳代」（26.5ポイント）、「50歳代」（32.8ポイント）で第1位を占めています。

ボランティア活動等の参加意向分野（性別、年齢別、複数回答、上位5位）

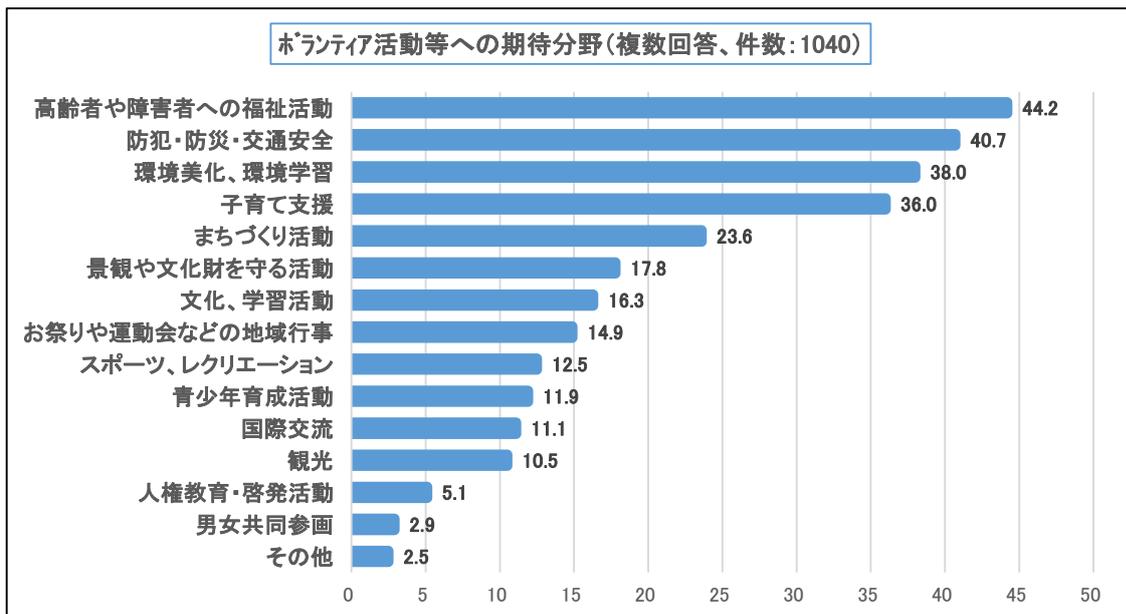
上段：人数（人） 下段：有効回答割合（ポイント）

	高齢者や 障害者への 福祉活動	環境美化・ 環境学習	防犯・防災、 交通安全	子育て支援	まちづくり 活動	全体計
男性	103	112	119	70	92	439
	23.5	25.5	27.1	15.9	21.0	
女性	173	145	114	158	95	585
	29.6	24.8	19.5	27.0	16.2	
不明	22	20	10	6	14	76
	28.9	26.3	13.2	7.9	18.4	
計	298	277	243	234	201	1,100
	27.1	25.2	22.1	21.3	18.3	
20歳代	15	22	19	21	5	87
	17.2	25.3	21.8	24.1	5.7	
30歳代	17	36	34	48	19	125
	13.6	28.8	27.2	38.4	15.2	
40歳代	44	36	43	45	32	170
	25.9	21.2	25.3	26.5	18.8	
50歳代	48	39	40	57	31	174
	27.6	22.4	23.0	32.8	17.8	
60歳代	59	65	42	36	48	191
	30.9	34.0	22.0	18.8	25.1	
70歳代	76	52	46	21	46	220
	34.5	23.6	20.9	9.5	20.9	
80歳以上	28	15	14	2	15	95
	29.5	15.8	14.7	2.1	15.8	
不明	11	12	5	4	5	38
	28.9	31.6	13.2	10.5	13.2	

7 特に期待しているボランティア活動やNPO活動の分野

期待しているボランティア活動等の分野は「高齢者や障害者への福祉活動」、「防犯・防災・交通安全」

ボランティア活動やNPO活動への期待分野では、第1位が「高齢者や障害者への福祉活動」（44.2ポイント）、第2位は「防犯・防災・交通安全」（40.7ポイント）で40ポイントを超えています。3位は「環境美化、環境学習」（38.0ポイント）と続いており、第2位と第3位が逆転しているものの、上位3位は前回調査と同様です。第4位には前回調査第6位（24.2ポイント）だった「子育て支援」が36.0ポイントで入っています。



男性は「防犯・防災・交通安全」、女性は「高齢者や障害者への福祉活動」

性別にみると、「男性」は「防犯・防災・交通安全」（40.1ポイント）や「環境美化、環境学習」（37.5ポイント）と社会的な面で、「女性」は「高齢者や障害者への福祉活動」（48.0ポイント）、や「子育て支援」

(43.7ポイント)と人的な面での期待が高くなっています。参加してみたい活動と同じ傾向となっています。

年齢別にみると、「子育て支援」が「20歳代」(51.8ポイント)、「30歳代」(53.8ポイント)、「40歳代」(45.9ポイント)で高い数値で第1位を占めている一方で、「60歳代」では34.3ポイント、「70歳代」では18.9ポイント、「80歳以上」では6.7ポイントと低くなっています。

ボランティア活動等に期待する分野(性別、年齢別、複数回答、上位5位)

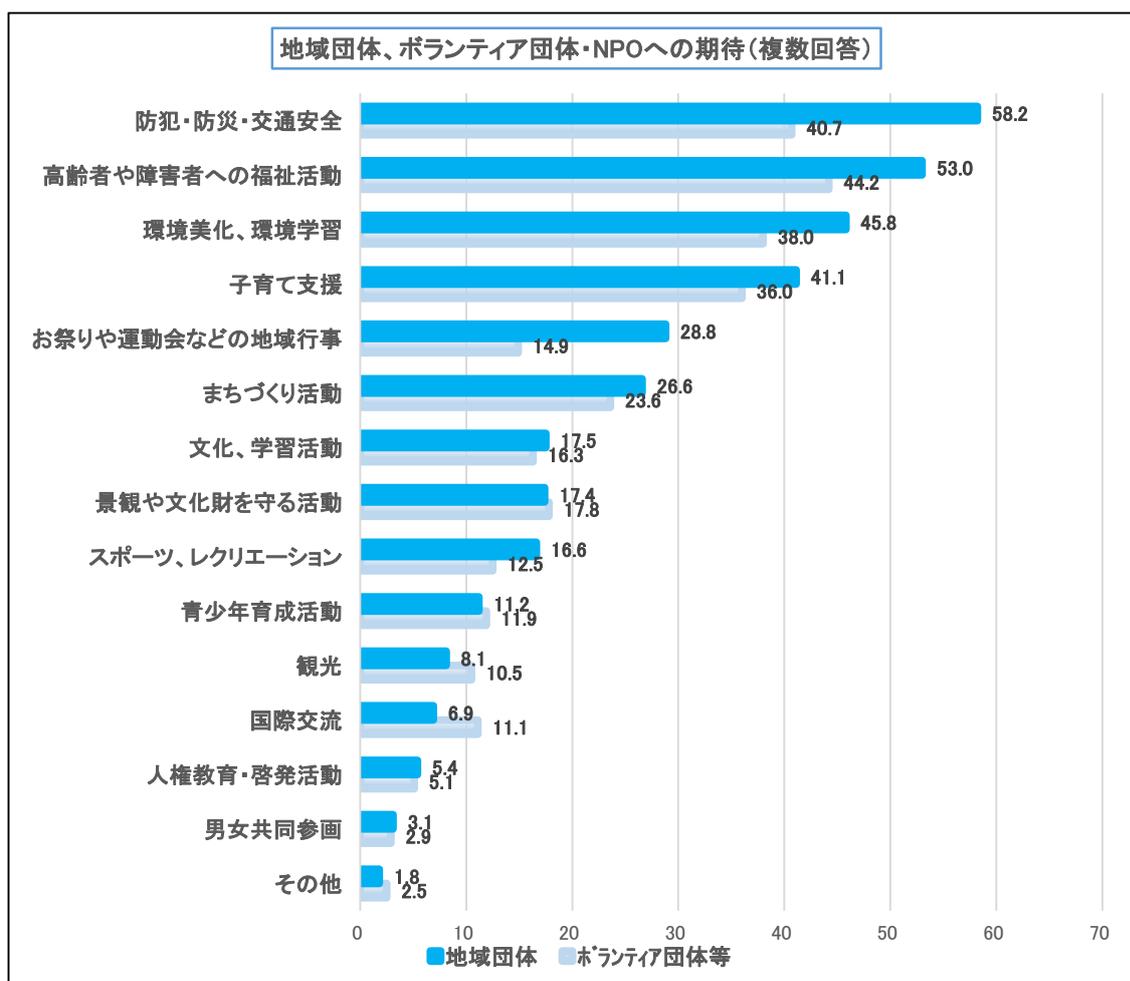
上段:人数(人) 下段:有効回答割合(ポイント)

	高齢者や 障害者へ の福祉活動	防犯・防災、 交通安全	環境美化・ 環境学習	子育て支援	まちづくり 活動	全体計
男性	158	169	158	122	99	421
	37.5	40.1	37.5	29.0	23.5	
女性	266	237	213	242	128	554
	48.0	42.8	38.4	43.7	23.1	
不明	36	17	24	10	18	65
	55.4	26.2	36.9	15.4	27.7	
計	460	423	395	374	245	1,040
	44.2	40.7	38.0	36.0	23.6	
20歳代	26	36	26	43	14	83
	31.3	43.4	31.3	51.8	16.9	
30歳代	34	63	47	64	22	119
	28.6	52.9	39.5	53.8	18.5	
40歳代	67	70	67	73	40	159
	42.1	44.0	42.1	45.9	25.2	
50歳代	80	77	61	78	40	164
	48.8	47.0	37.2	47.6	24.4	
60歳代	92	69	71	62	46	181
	50.8	38.1	39.2	34.3	25.4	
70歳代	105	73	79	40	54	212
	49.5	34.4	37.3	18.9	25.5	
80歳以上	40	27	29	6	20	89
	44.9	30.3	32.6	6.7	22.5	
不明	16	8	15	8	9	33
	48.5	24.2	45.5	24.2	27.3	

「地域団体の活動」と「ボランティア団体・NPOの活動」、それぞれの役割を期待

前述の「Ⅱ-6 地域団体の今後の活動分野」と今回の「ボランティア団体・NPOの活動への期待」について、比較してみると若干の差が見られます。

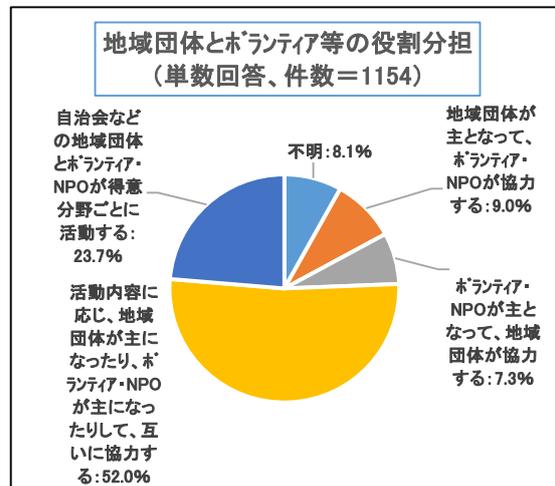
「防犯・防災・交通安全」、「お祭りや運動会などの地域行事」、は地域団体が担うべきと期待されています。「高齢者や障害者への福祉活動」、「環境美化、環境学習」、「子育て支援」は地域団体とボランティア団体・NPO共に期待されています。一方で、「観光」、「国際交流」はボランティア団体・NPOの活動が期待されています。



8 地域団体とボランティア・NPOの役割分担

地域団体とボランティア団体・NPOが協力

地域団体とボランティア団体・NPOの役割分担について、「活動内容に応じ、地域団体が主になったり、ボランティア・NPOが主になったりして、互いに協力する」が最も多く（52.0%）、特徴を生かした役割分担が求められています。この傾向は前回調査と同様です。



性別にみると、傾向に大きな差はありません。

地域団体とボランティア団体等の役割 (性別、単数回答)

上段: 人数(人) 下段: 割合(%)

	地域団体が主、ボランティア団体等が協力	ボランティア団体等が主、地域団体が協力	活動内容に応じ互いが主になり互いに協力	得意分野ごとに活動	不明	計
男性	57	42	213	120	29	461
	12.4	9.1	46.2	26.0	6.3	100.0
女性	38	39	356	138	42	613
	6.2	6.4	58.1	22.5	6.9	100.0
不明	9	3	31	15	22	80
	11.3	3.8	38.8	18.8	27.5	100.0
計	104	84	600	273	93	1,154
	9.0	7.3	52.0	23.7	8.1	100.0

活動内容に応じ、互いに協力を

年齢別にみると、傾向に大きな差はありませんが、「活動内容に応じ、地域団体が主になったり、ボランティア・NPOが主になったりして、互いに協力する」の回答は「40歳代」（58.7ポイント）、「50歳代」（59.4ポイント）、「60歳代」（56.7ポイント）で高くなっています。

地域団体とボランティア団体等の役割(年齢別、単数回答)

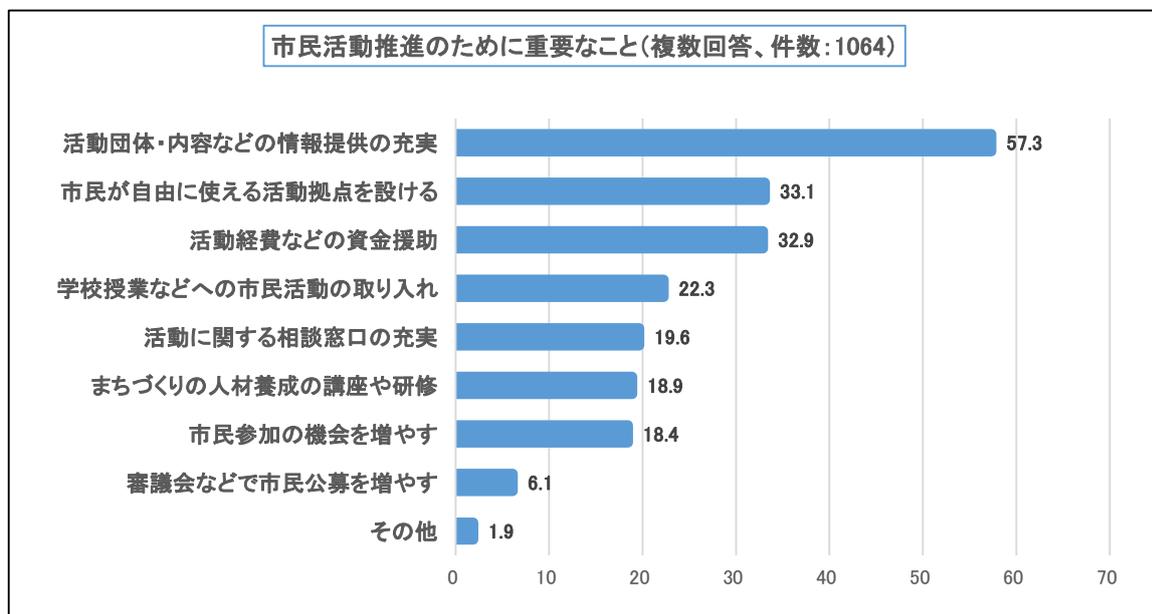
上段:人数(人) 下段:割合(%)

	地域団体が主、 ボランティア団体等 が協力	ボランティア団体等 が主、地域団体 が協力	活動内容に応じ 互いが主になり 互いに協力	得意分野ごとに 活動	不明	計
20歳代	8	9	48	23	3	91
	8.8	9.9	52.7	25.3	3.3	100.0
30歳代	12	15	71	29	4	131
	9.2	11.5	54.2	22.1	3.1	100.0
40歳代	13	13	105	41	7	179
	7.3	7.3	58.7	22.9	3.9	100.0
50歳代	12	12	107	44	5	180
	6.7	6.7	59.4	24.4	2.8	100.0
60歳代	16	18	114	43	10	201
	8.0	9.0	56.7	21.4	5.0	100.0
70歳代	25	11	104	62	29	231
	10.8	4.8	45.0	26.8	12.6	100.0
80歳 以上	12	6	34	22	25	99
	12.1	6.1	34.3	22.2	25.3	100.0
不明	6		17	9	10	42
	14.3		40.5	21.4	23.8	100.0
計	104	84	600	273	93	1,154
	9.0	7.3	52.0	23.7	8.1	100.0

9 市民活動推進のために重要なこと

市民活動推進のために「情報提供の充実」を

市民活動推進のために重要なことでは、前回調査同様に「活動団体や活動内容などの情報提供の充実」が50ポイントを超えて突出しています。また前回調査で第5位（27.7ポイント）だった「活動経費などの資金援助」が第3位（32.9ポイント）に上がっています。



「性別」、「年齢別」によって考え方に差が

性別にみると、「男性」、「女性」共に、第1位は「活動団体や活動内容などの情報提供の充実」ですが、第2位は、「男性」は「活動経費などの資金援助」（39.0ポイント）、「女性」は「市民が自由に使える活動拠点を設ける」（33.3ポイント）となっています。

年齢別にみると、全年齢で第1位は「活動団体や活動内容などの情報提供の充実」ですが、「20歳代」から「40歳代」の若い世代で「学校での授業

や課外活動への市民活動の取り入れ」が、「50歳代」で「活動経費などの資金援助」が、「60歳代」以上の高齢世代で「市民が自由に使える活動拠点を設ける」が第2位になっており、年齢層により重要と考える項目に差があります。

市民活動推進のために重要なこと(性別、年齢別、複数回答、上位5位)

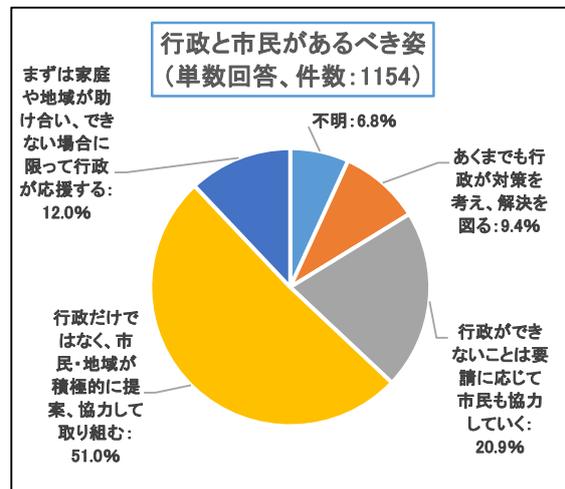
上段:人数(人) 下段:有効回答割合(ポイント)

	活動団体や活動内容などの情報提供の充実	市民が自由に使える活動拠点を設ける	活動経費などの資金援助	学校での授業や課外活動への市民活動の取り入れ	活動に関する相談窓口の充実	全体計
男性	237	142	170	97	80	436
	54.4	32.6	39.0	22.2	18.3	
女性	350	186	164	137	115	559
	62.6	33.3	29.3	24.5	20.6	
不明	23	24	16	3	14	69
	33.3	34.8	23.2	4.3	20.3	
計	610	352	350	237	209	1,064
	57.3	33.1	32.9	22.3	19.6	
20歳代	55	24	30	38	16	82
	67.1	29.3	36.6	46.3	19.5	
30歳代	80	29	39	48	27	122
	65.6	23.8	32.0	39.3	22.1	
40歳代	106	33	47	47	38	166
	63.9	19.9	28.3	28.3	22.9	
50歳代	102	48	77	37	29	170
	60.0	28.2	45.3	21.8	17.1	
60歳代	107	83	57	27	37	186
	57.5	44.6	30.6	14.5	19.9	
70歳代	115	93	67	31	33	215
	53.5	43.3	31.2	14.4	15.3	
80歳以上	32	30	22	7	20	89
	36.0	33.7	24.7	7.9	22.5	
不明	13	12	11	2	9	34
	38.2	35.3	32.4	5.9	26.5	

10 地域問題解決のための行政と市民のあり方

5割以上は行政と市民の協働を重視

地域の問題解決に向けた行政と市民のあり方として、「行政だけではなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む」（51.0%）が前回調査同様に最も多く、5割強の回答がありました。前回調査（57.6%）よりは割合が低くなっています。



性別にみると、傾向に大きな差はありません。

行政と市民があるべき姿(性別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	あくまで行政が対策を考え、解決を図る	行政ができていないことは要請に応じて市民も協力していく	行政だけではなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む	まずは家庭や地域が助け合い、できない場合に限って行政が応援する	不明	計
男性	50 10.8	102 22.1	225 48.8	60 13.0	24 5.2	461 100.0
女性	49 8.0	131 21.4	335 54.6	59 9.6	39 6.4	613 100.0
不明	9 11.3	8 10.0	28 35.0	20 25.0	15 18.8	80 100.0
計	108 9.4	241 20.9	588 51.0	139 12.0	78 6.8	1,154 100.0

40歳代から60歳代を中心に協働の意識は高い

年齢別にみると、全体で第1位の「行政だけではなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む」（51.0%）と比較して、「20歳代」（46.2%）、「30歳代」（49.6%）の若い年齢層では5割を切っており、「40歳代」（57.0%）、「50歳代」（58.3%）、「60歳代」（59.7%）が6割に近い割合を示しているのと対照的です。また、「70歳代」（45.0%）、「80歳以上」（38.4%）になると、低い割合になっています。

行政と市民があるべき姿（年齢別、単数回答）

上段：人数（人） 下段：割合（%）

	あくまで行政が対策を考え、解決を図る	行政ができないことは要請に応じて市民も協力していく	行政だけではなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む	まずは家庭や地域が助け合い、できない場合に限って行政が応援する	不明	計
20歳代	12	24	42	12	1	91
	13.2	26.4	46.2	13.2	1.1	100.0
30歳代	24	34	65	7	1	131
	18.3	26.0	49.6	5.3	0.8	100.0
40歳代	11	45	102	13	8	179
	6.1	25.1	57.0	7.3	4.5	100.0
50歳代	18	38	105	17	2	180
	10.0	21.1	58.3	9.4	1.1	100.0
60歳代	17	31	120	22	11	201
	8.5	15.4	59.7	10.9	5.5	100.0
70歳代	16	47	104	39	25	231
	6.9	20.3	45.0	16.9	10.8	100.0
80歳以上	3	15	38	21	22	99
	3.0	15.2	38.4	21.2	22.2	100.0
不明	7	7	12	8	8	42
	16.7	16.7	28.6	19.0	19.0	100.0
計	108	241	588	139	78	1,154
	9.4	20.9	51.0	12.0	6.8	100.0

IV 交流等に関する考え方と団体活動への関わりについて

今回の調査から新しい質問項目として、交流等に関する考え方の傾向を、たずねました。

1 コミュニケーションについて

A) 多くの人とコミュニケーションをとる機会を持ちたい

B) なるべく人とのコミュニケーションをとらずに静かに暮らしたい

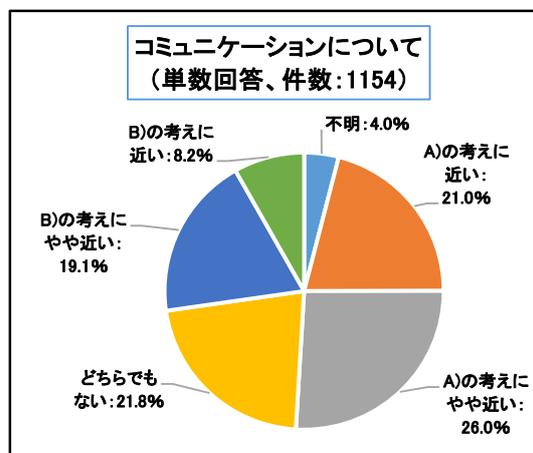
多く的人是はコミュニケーションをとりたい

47.0%の回答者が「A) 多くの人とのコミュニケーションをとる機会を持ちたい」と考えています。

性別に見ても、この傾向に大きな差はありません。

コミュニケーションについて(性別、単数回答)
上段:人数(人) 下段:割合(%)

	A)の考えに近い	A)の考えにやや近い	どちらでもない	B)の考えにやや近い	B)の考えに近い	不明	計
男性	95 20.6	111 24.1	96 20.8	100 21.7	42 9.1	17 3.7	461 100.0
女性	124 20.2	172 28.1	142 23.2	107 17.5	46 7.5	22 3.6	613 100.0
不明	23 28.8	17 21.3	13 16.3	13 16.3	7 8.8	7 8.8	80 100.0
計	242 21.0	300 26.0	251 21.8	220 19.1	95 8.2	46 4.0	1,154 100.0



年齢別にみると、「不明」を除き全ての年齢層で、「A) 多くの人とのコミュニケーションをとる機会を持ちたい」と考える割合の方が高くなっています。

逆に、「20歳代」、「30歳代」の若い年齢層では、「A) 多くの人とのコミュニケーションをとる機会を持ちたい」よりは少ないものの、「B) なるべく人とのコミュニケーションをとらずに静かに暮らしたい」の割合が比較的高く、30%を超えています。

コミュニケーションについて(年齢別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	A)の考えに近い	A)の考えにやや近い	どちらでもない	B)の考えにやや近い	B)の考えに近い	不明	計
20歳代	15	29	19	19	9		91
	16.5	31.9	20.9	20.9	9.9		100.0
30歳代	18	36	29	25	22	1	131
	13.7	27.5	22.1	19.1	16.8	0.8	100.0
40歳代	28	46	50	39	13	3	179
	15.6	25.7	27.9	21.8	7.3	1.7	100.0
50歳代	25	49	48	40	12	6	180
	13.9	27.2	26.7	22.2	6.7	3.3	100.0
60歳代	47	55	46	33	11	9	201
	23.4	27.4	22.9	16.4	5.5	4.5	100.0
70歳代	67	59	34	40	16	15	231
	29.0	25.5	14.7	17.3	6.9	6.5	100.0
80歳以上	34	20	17	13	7	8	99
	34.3	20.2	17.2	13.1	7.1	8.1	100.0
不明	8	6	8	11	5	4	42
	19.0	14.3	19.0	26.2	11.9	9.5	100.0
計	242	300	251	220	95	46	1,154
	21.0	26.0	21.8	19.1	8.2	4.0	100.0

コミュニケーションをとりたい人は積極的に活動

コミュニケーションに関する考え方と地域団体の活動への参加状況を比較してみると、地域団体の活動に「積極的に参加している」人の74.9%が「A) 多くの人とのコミュニケーションをとる機会を持ちたい」と考えており、「ときどき参加している」においても56.0%を占めています。

逆に、「B) なるべく人とのコミュニケーションをとらずに静かに暮らしたい」と考えている人では、「積極的に参加している」は11.5%、「ときどき参加している」は20.5%と低い割合となっています。考え方と行動がほぼ一致した結果となっています。

コミュニケーションと地域団体活動への参加について(単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	A)の考えに近い	A)の考えにやや近い	どちらでもない	B)の考えにやや近い	B)の考えに近い	不明	計
積極的に参加している	84	47	19	12	8	5	175
	48.0	26.9	10.9	6.9	4.6	2.9	100.0
ときどき参加している	65	118	67	55	12	10	327
	19.9	36.1	20.5	16.8	3.7	3.1	100.0
あまり参加していない	35	59	64	62	25	13	258
	13.6	22.9	24.8	24.0	9.7	5.0	100.0
まったく参加していない	46	68	95	80	49	13	351
	13.1	19.4	27.1	22.8	14.0	3.7	100.0
不明	12	8	6	11	1	5	43
	27.9	18.6	14.0	25.6	2.3	11.6	100.0
計	242	300	251	220	95	46	1,154
	21.0	26.0	21.8	19.1	8.2	4.0	100.0

次に、ボランティア活動やNPO活動への参加状況と比較してみると、「参加している」人の75.0%が「A) 多くの人とのコミュニケーションをとる機会を持ちたい」と考えており、「参加したことがある」においても、57.4%を占めています。

逆に、「B) なるべく人とのコミュニケーションをとらずに静かに暮らしたい」と考えている人では、「参加している」は9.8%、「参加したことがある」は15.3%と低い割合となっています。この傾向は地域団体の活動への参加状況とほぼ同様の結果となっています。

コミュニケーションとボランティア活動・NPO活動への参加について(単数回答)
上段:人数(人) 下段:割合(%)

	A)の考えに近い	A)の考えにやや近い	どちらでもない	B)の考えにやや近い	B)の考えに近い	不明	計
参加している	42	27	11	6	3	3	92
	45.7	29.3	12.0	6.5	3.3	3.3	100.0
参加したことがある	44	57	40	21	6	8	176
	25.0	32.4	22.7	11.9	3.4	4.5	100.0
参加したことがない	137	201	189	178	82	22	809
	16.9	24.8	23.4	22.0	10.1	2.7	100.0
不明	19	15	11	15	4	13	77
	24.7	19.5	14.3	19.5	5.2	16.9	100.0
計	242	300	251	220	95	46	1,154
	21.0	26.0	21.8	19.1	8.2	4.0	100.0

2 世代交流について

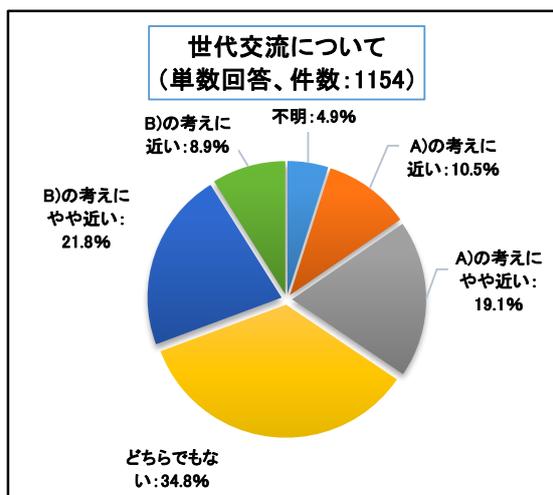
- A) 自分とは違う世代の人と交流したい
 B) できるだけ同世代の人と交流したい

交流の相手はいろいろ

「A) 自分とは違う世代の人と交流したい」が29.6%、「B) できるだけ同世代の人と交流したい」が30.7%、「どちらでもない」が34.8%、とほぼ3分の1ずつ、同割合となっています。

「性別」にみても、この傾向に大きな差はありませんが、「女性」の「どちら

でもない」が37.2%と「男性」と比べて若干割合が高くなっています。



世代交流について(性別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	A)の考えに近い	A)の考えにやや近い	どちらでもない	B)の考えに近い	B)の考えにやや近い	不明	計
男性	52 11.3	93 20.2	156 33.8	106 23.0	35 7.6	19 4.1	461 100.0
女性	59 9.6	119 19.4	228 37.2	126 20.6	55 9.0	26 4.2	613 100.0
不明	10 12.5	8 10.0	18 22.5	20 25.0	13 16.3	11 13.8	80 100.0
計	121 10.5	220 19.1	402 34.8	252 21.8	103 8.9	56 4.9	1,154 100.0

年齢別にみると、年代によって考え方に差が生じています。

「20歳代」、「30歳代」の若い年齢層では、「B)できるだけ同世代の人と交流したい」という回答の方が多く、両年代で35%を超えています。

逆に「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」の中間層では、「A)自分とは違う世代の人と交流したい」という回答の方が多く、各年代で30%を超えています。

さらに、「70歳代」、「80歳以上」の高年齢層では、若年層と同様に、「B)できるだけ同世代の人と交流したい」という回答の方が多く、両年代で35%を超えており、特に「80歳以上」では、42.5%と高い割合になっています。

世代交流について(年齢別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	A)の考えに近い	A)の考えにやや近い	どちらでもない	B)の考えにやや近い	B)の考えに近い	不明	計
20歳代	4	22	33	20	12		91
	4.4	24.2	36.3	22.0	13.2		100.0
30歳代	10	21	49	34	16	1	131
	7.6	16.0	37.4	26.0	12.2	0.8	100.0
40歳代	18	41	78	30	8	4	179
	10.1	22.9	43.6	16.8	4.5	2.2	100.0
50歳代	22	38	76	31	8	5	180
	12.2	21.1	42.2	17.2	4.4	2.8	100.0
60歳代	22	39	77	44	10	9	201
	10.9	19.4	38.3	21.9	5.0	4.5	100.0
70歳代	28	45	57	54	28	19	231
	12.1	19.5	24.7	23.4	12.1	8.2	100.0
80歳以上	13	12	18	26	16	14	99
	13.1	12.1	18.2	26.3	16.2	14.1	100.0
不明	4	2	14	13	5	4	42
	9.5	4.8	33.3	31.0	11.9	9.5	100.0
計	121	220	402	252	103	56	1,154
	10.5	19.1	34.8	21.8	8.9	4.9	100.0

異世代交流を考えている人は地域団体の活動に積極的

世代交流に関する考え方と地域団体の活動への参加状況を比較してみると、地域団体の活動に「積極的に参加している」人の40.6%が「A)自分とは違う世代の人と交流したい」と考えています。

逆に、「まったく参加していない」人の31.9%が「B)できるだけ同世代の人と交流したい」と考えており、地域団体の活動への参加自体はやや消極的です。

世代交流と地域団体活動への参加について(単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	A)の考えに 近い	A)の考えに やや近い	どちらでも ない	B)の考えに やや近い	B)の考えに 近い	不明	計
積極的に 参加している	39	32	46	33	19	6	175
	22.3	18.3	26.3	18.9	10.9	3.4	100.0
ときどき 参加している	23	80	106	83	23	12	327
	7.0	24.5	32.4	25.4	7.0	3.7	100.0
あまり参加 していない	19	43	110	53	19	14	258
	7.4	16.7	42.6	20.5	7.4	5.4	100.0
まったく参加 していない	36	58	132	73	39	13	351
	10.3	16.5	37.6	20.8	11.1	3.7	100.0
不明	4	7	8	10	3	11	43
	9.3	16.3	18.6	23.3	7.0	25.6	100.0
計	121	220	402	252	103	56	1,154
	10.5	19.1	34.8	21.8	8.9	4.9	100.0

次に、ボランティア活動やNPO活動への参加状況と比較してみると、「参加している」人の45.7%が「A)自分とは違う世代の人と交流したい」と考えています。

逆に、「まったく参加していない」人の30.9%が「B)できるだけ同世代の人と交流したい」と考えており、地域団体の活動への参加状況とほぼ同様

の結果となっています。

世代交流とボランティア活動・NPO活動への参加について(単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

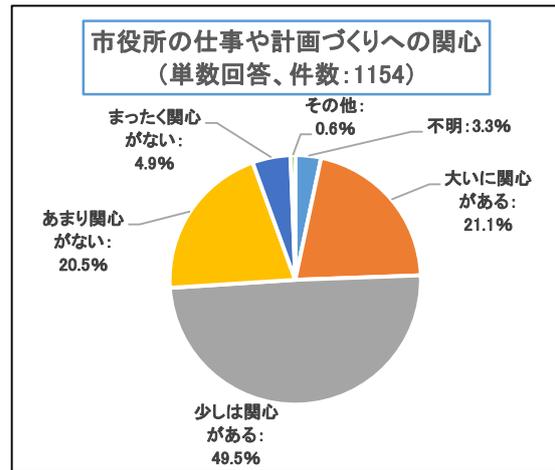
	A)の考えに 近い	A)の考えに やや近い	どちらでも ない	B)の考えに やや近い	B)の考えに 近い	不明	計
参加している	24	18	19	16	8	7	92
	26.1	19.6	20.7	17.4	8.7	7.6	100.0
参加したことが ある	20	40	60	44	6	6	176
	11.4	22.7	34.1	25.0	3.4	3.4	100.0
参加したことが ない	73	151	308	169	81	27	809
	9.0	18.7	38.1	20.9	10.0	3.3	100.0
不明	4	11	15	23	8	16	77
	5.2	14.3	19.5	29.9	10.4	20.8	100.0
計	121	220	402	252	103	56	1,154
	10.5	19.1	34.8	21.8	8.9	4.9	100.0

V 市政への関わりについて

1 市役所の仕事や計画づくりへの関心

約7割は市役所の仕事や計画づくりに関心あり

「大いに関心がある」（21.1%）、
「少しは関心がある」（49.5%）を合わせると、約7割が市役所の仕事や計画づくりに対して関心をもっています。この傾向は、前回調査（76.2%）と同様ですが、若干割合が減少しています。



市役所の仕事や計画づくりへの関心では、過去の既存調査との比較においても、その傾向に大きな差は生じていません。

市役所の仕事や計画づくりへの関心の比較

今回調査	構成比	前回調査	構成比	平成10年9月調査	構成比
大いに関心がある	21.1%	大いに関心がある	31.6%	大いに関心がある	32.2%
少しは関心がある	49.5%	少しは関心がある	44.6%	少しは関心がある	39.6%
小計	70.6%	小計	76.2%	小計	71.8%
あまり関心がない	20.5%	あまり関心がない	17.0%	あまり関心がない	21.6%
全く関心がない	4.9%	全く関心がない	3.3%	全く関心がない	3.5%
小計	25.4%	小計	20.3%	小計	25.1%
その他	0.6%	どちらでもない	0.5%	その他	0.8%
不明	3.3%	不明	3.0%	不明	2.3%

20歳代も関心あり

性別にみると、傾向に大きな差はありません。

年齢別にみると、全年齢で第1位は「少しは関心がある」ですが、「70歳代」（28.4%）、「80歳以上」（25.1%）と共に、「20歳代」において「大いに関心がある」が第2位（19.0%）です。

市役所の仕事や計画づくりへの関心（性別、年齢別、単数回答） 上段：人数（人） 下段：割合（%）

	大いに関心 がある	少しは関心 がある	あまり関心 がない	全く関心 がない	その他	不明	計
男性	118	208	90	27	3	15	461
	25.6	45.1	19.5	5.9	0.7	3.3	100.0
女性	107	329	132	29	3	13	613
	17.5	53.7	21.5	4.7	0.5	2.1	100.0
不明	19	34	15	1	1	10	80
	23.8	42.5	18.8	1.3	1.3	12.5	100.0
計	244	571	237	57	7	38	1,154
	21.1	49.5	20.5	4.9	0.6	3.3	100.0
20歳代	8	18	7	1	1	7	42
	19.0	42.9	16.7	2.4	2.4	16.7	100.0
30歳代	7	43	27	14			91
	7.7	47.3	29.7	15.4			100.0
40歳代	25	64	35	6		1	131
	19.1	48.9	26.7	4.6		0.8	100.0
50歳代	21	105	40	10		3	179
	11.7	58.7	22.3	5.6		1.7	100.0
60歳代	32	92	43	10	1	2	180
	17.8	51.1	23.9	5.6	0.6	1.1	100.0
70歳代	57	91	38	7	3	5	201
	28.4	45.3	18.9	3.5	1.5	2.5	100.0
80歳 以上	58	119	33	7	1	13	231
	25.1	51.5	14.3	3.0	0.4	5.6	100.0
不明	36	39	14	2	1	7	99
	36.4	39.4	14.1	2.0	1.0	7.1	100.0

2 市民の声を市政に反映していくために必要なこと

必要なことの見解は分かれる

市民の声を市政に反映していくために必要なことの第1位は、前回調査で第3位（16.5%）だった「市政への提案・提言の機会やしくみを増やす」（19.2%）でした。逆に前回調査第1位の「市民の苦情処理や相談窓口の機能を充実する」（28.3%）は、今回の調査で

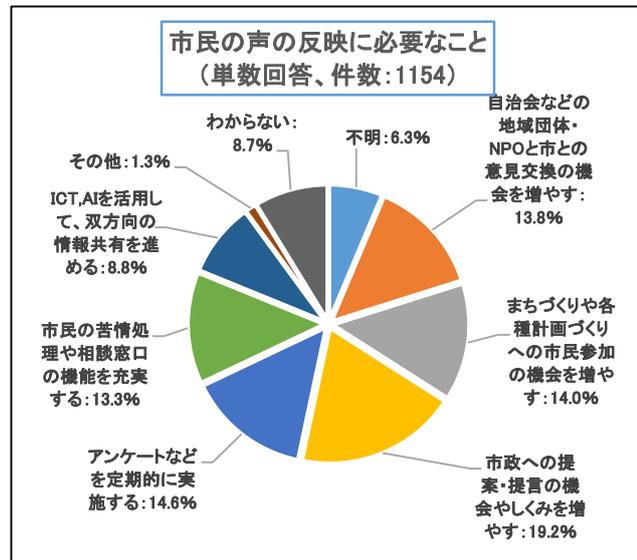
は第5位（13.3%）へ下がっています。但し、第2位から第5位まであまり差は生じていません。

第1位の「市政への提案・提言の機会やしくみを増やす」に「自治会などの地域団体・NPOと市との意見交換の機会を増やす」（13.8%）と「まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす」（14.0%）を合わせると、約半数（47.0%）の人が直接参加が必要と答えており、前回調査とほぼ同様です。

性別にみると、傾向に大きな差はありません。

年齢別にみると、全体で第1位の「市政への提案・提言の機会やしくみを増やす」が、「70歳代」では第4位（12.6%）に下がり、第1位は「まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす」（20.3%）となっています。

また、「30歳代」では、「市民の苦情処理や相談窓口の機能を充実する」



(6.9%) や「70歳代」では第1位だった「まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす」が低い割合(8.4%)となっています。

市民の声の反映に必要なこと(性別、年齢別、単数回答)

上段:人数(人) 下段:割合(%)

	自治会などの地域団体・NPOと市との意見交換の機会を増やす	まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす	市政への提案・提言の機会やしきみを増やす	アンケートなどを定期的実施する	市民の苦情処理や相談窓口の機能を充実する	ICT, AIを活用して、双方向の情報共有を進める	その他	わからない	不明	計
男性	69	63	101	73	57	45	8	26	19	461
	15.0	13.7	21.9	15.8	12.4	9.8	1.7	5.6	4.1	100.0
女性	84	89	113	85	88	54	5	57	38	613
	13.7	14.5	18.4	13.9	14.4	8.8	0.8	9.3	6.2	100.0
不明	6	10	8	10	9	2	2	17	16	80
	7.5	12.5	10.0	12.5	11.3	2.5	2.5	21.3	20.0	100.0
計	159	162	222	168	154	101	15	100	73	1,154
	13.8	14.0	19.2	14.6	13.3	8.8	1.3	8.7	6.3	100.0
20歳代	8	10	20	19	12	15		5	2	91
	8.8	11.0	22.0	20.9	13.2	16.5		5.5	2.2	100.0
30歳代	14	11	34	30	9	23		8	2	131
	10.7	8.4	26.0	22.9	6.9	17.6		6.1	1.5	100.0
40歳代	22	24	38	30	23	20	5	14	3	179
	12.3	13.4	21.2	16.8	12.8	11.2	2.8	7.8	1.7	100.0
50歳代	31	24	37	16	20	24	5	18	5	180
	17.2	13.3	20.6	8.9	11.1	13.3	2.8	10.0	2.8	100.0
60歳代	29	29	46	25	43	7	3	12	7	201
	14.4	14.4	22.9	12.4	21.4	3.5	1.5	6.0	3.5	100.0
70歳代	43	47	29	29	30	10		19	24	231
	18.6	20.3	12.6	12.6	13.0	4.3		8.2	10.4	100.0
80歳以上	12	12	12	12	13	2	1	15	20	99
	12.1	12.1	12.1	12.1	13.1	2.0	1.0	15.2	20.2	100.0
不明		5	6	7	4		1	9	10	42
		11.9	14.3	16.7	9.5		2.4	21.4	23.8	100.0

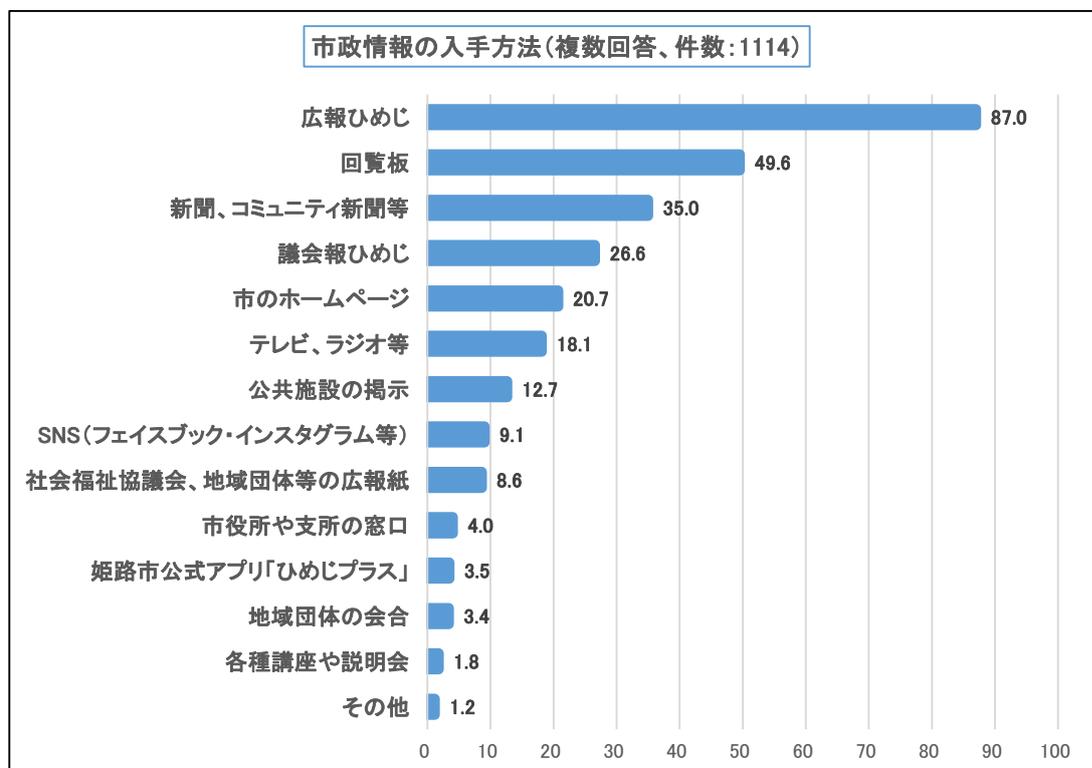
3 市政情報の入手方法

「広報ひめじ」は市政情報入手の最大の方法

市政情報の入手方法では、前回調査同様「広報ひめじ」（87.0ポイント）が最も多く、「回覧板」（49.6ポイント）、「新聞、コミュニティ新聞等」（35.0ポイント）が続いています。

前回調査で第7位（6.3ポイント）だった「市のホームページ」が今回調査では第5位（20.7ポイント）と上昇しています。

一方「SNS（フェイスブック・インスタグラム等）」（9.1ポイント）や「姫路市公式アプリ「ひめじプラス」（3.5ポイント）は市政情報の入手方法としてはまだまだ利用が多くない状況です。



性別にみると、傾向に大きな差はありません。「広報ひめじ」が高い割合です。

年齢別にみると、全ての年齢層で「広報ひめじ」が最も多いですが、「議会報ひめじ」は、若い年齢層ほど割合が低く、年齢層が高くなるにつれて割合も高くなっています。

市政情報の入手方法(性別、年齢別、複数回答、上位5位)

上段:人数(人) 下段:有効回答割合(ポイント)

	広報ひめじ	回覧板	新聞、 コミュニティ 新聞等	議会報 ひめじ	市のホーム ページ	全体計
男性	373	201	157	124	116	444
	84.0	45.3	35.4	27.9	26.1	
女性	534	311	211	154	105	595
	89.7	52.3	35.5	25.9	17.6	
不明	62	40	22	18	10	75
	82.7	53.3	29.3	24.0	13.3	
計	969	552	390	296	231	1,114
	87.0	49.6	35.0	26.6	20.7	
20歳代	43	22	20	4	18	85
	50.6	25.9	23.5	4.7	21.2	
30歳代	104	54	19	18	39	130
	80.0	41.5	14.6	13.8	30.0	
40歳代	159	58	56	38	50	171
	93.0	33.9	32.7	22.2	29.2	
50歳代	163	92	73	46	53	177
	92.1	52.0	41.2	26.0	29.9	
60歳代	179	114	82	73	35	195
	91.8	58.5	42.1	37.4	17.9	
70歳代	210	136	91	77	26	224
	93.8	60.7	40.6	34.4	11.6	
80歳 以上	80	59	39	29	2	97
	82.5	60.8	40.2	29.9	2.1	
不明	31	17	10	11	8	35
	88.6	48.6	28.6	31.4	22.9	

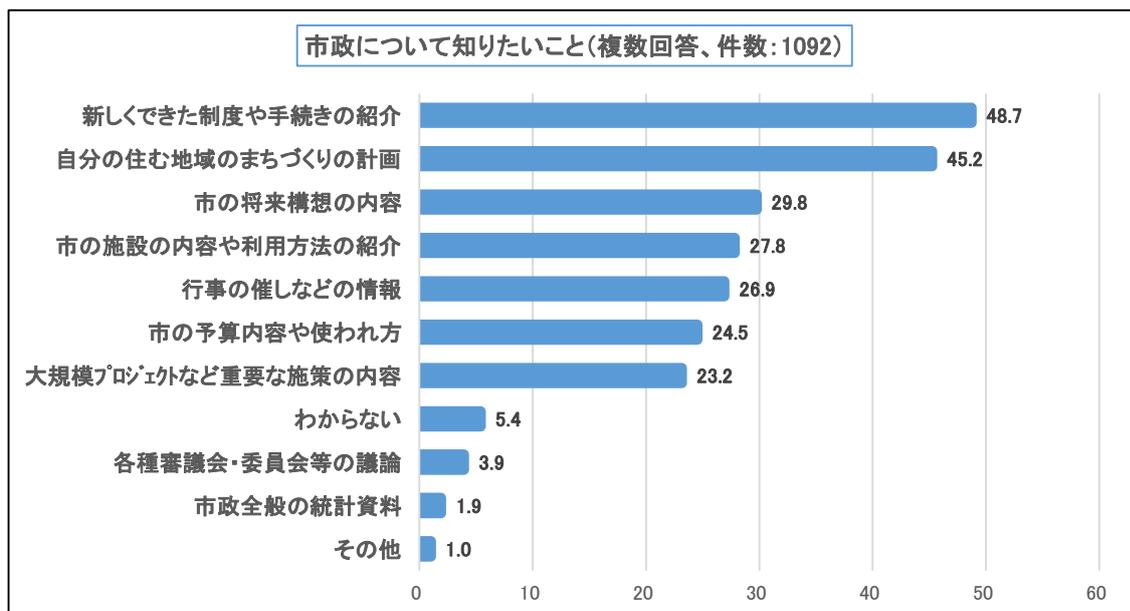
4 市政について特に知りたいこと

知りたいこと、「新しくできた制度や手続きの紹介」、「自分の住む地域のまちづくり計画」

市政について特に知りたいことの第1位は、前回調査で第2位（43.4ポイント）だった「新しくできた制度や手続きの紹介」（48.7ポイント）で、前回調査第1位（44.0ポイント）の「自分の住む地域のまちづくり計画」（45.2ポイント）が第2位で続いています。

第1位、第2位を除くと、第3位の「市の将来構想の内容」（29.8ポイント）から第7位の「大規模のプロジェクトなどの重要な施策の内容」（23.2ポイント）まではあまり差がなく、知りたいことが多方面に分散している状況です。

一方、前回調査で第3位（37.6ポイント）だった「市の予算の内容や使われ方」が今回の調査では第6位（24.5ポイント）に下がっています。



「性別」、「年齢別」によって差が

性別にみると、回答差が出ており、「男性」の第1位が「自分の住む地域のまちづくり計画」（50.1ポイント）、「女性」の第1位が「新しくできた制度や手続きの紹介」（58.6ポイント）となっています。第2位以下も微妙に差が生じています。

年齢別にみると、第1位は、50歳代以下では「新しくできた制度や手続きの紹介」、60歳代以上では「自分の住む地域のまちづくり計画」です。

市政について知りたいこと(性別、年齢別、複数回答、上位5位)

上段:人数(人) 下段:有効回答割合(ポイント)

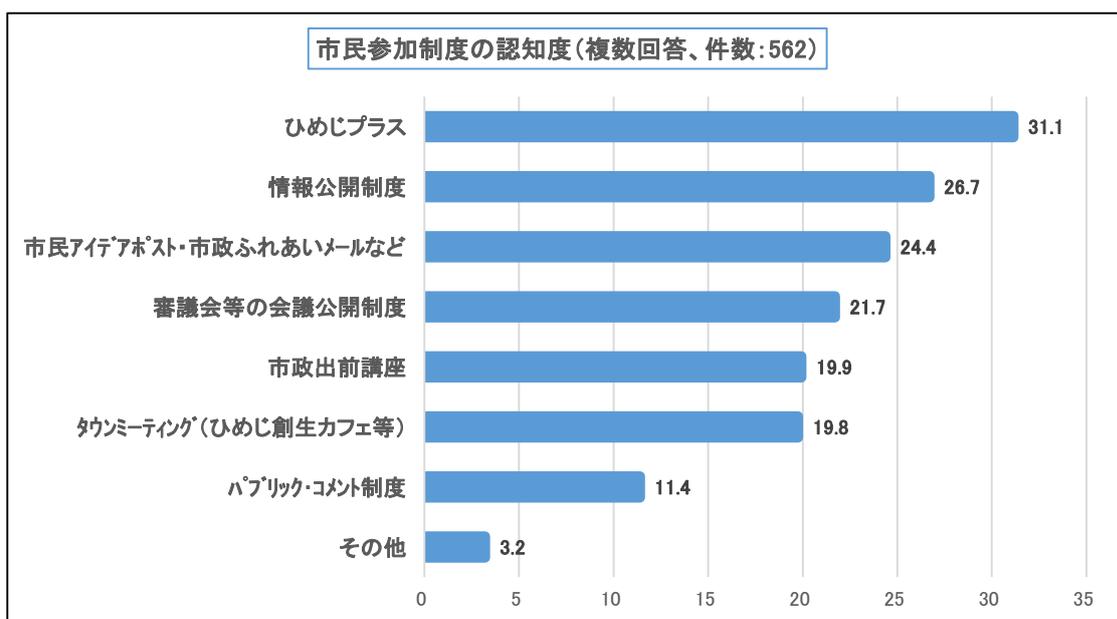
	新しくできた 制度や手続 きの紹介	自分の住む 地域のまち づくりの計画	市の 将来構想の 内容	市の施設の 内容や利用 方法の紹介	行事の催し などの情報	全体計
男性	177	221	183	103	101	441
	40.1	50.1	41.5	23.4	22.9	
女性	341	256	133	192	179	582
	58.6	44	22.9	33	30.8	
不明	14	17	9	9	14	69
	20.3	24.6	13	13	20.3	
計	532	494	325	304	294	1,092
	48.7	45.2	29.8	27.8	26.9	
20歳代	49	32	20	16	28	90
	54.4	35.6	22.2	17.8	31.1	
30歳代	72	41	41	40	39	125
	57.6	32.8	32.8	32	31.2	
40歳代	103	69	50	59	57	167
	61.7	41.3	29.9	35.3	34.1	
50歳代	103	74	51	39	40	174
	59.2	42.5	29.3	22.4	23	
60歳代	81	113	61	67	51	195
	41.5	57.9	31.3	34.4	26.2	
70歳代	92	128	69	64	58	224
	41.1	57.1	30.8	28.6	25.9	
80歳 以上	30	36	33	17	21	98
	30.6	36.7	33.7	17.3	21.4	
不明	2	1		2		19
	10.5	5.3		10.5		

5 市民参加の取組みの認知度

新しい取組み「ひめじプラス」が高く

市民参加制度の認知度では、前回調査時にはなかった「ひめじプラス」が第1位（31.1ポイント）となっており、前回調査第1位（23.4ポイント）の「情報公開制度」（26.7ポイント）が続いています。

また、前回調査で認知度の低かった「パブリック・コメント制度」（3.6ポイント）は、今回調査では数値（11.4ポイント）は上がったものの、順位的にはあまり認知度が上がっていません。



「性別」、「年齢別」によって認知度に差が

性別にみると、「男性」の第1位が「情報公開制度」（33.6ポイント）、「女性」の第1位が「ひめじプラス」（32.1ポイント）と差が出ています。

年齢別にみると、60歳代以下で「ひめじプラス」が第1位ですが、「70歳代」では「審議会等の会議の公開制度」（34.2ポイント）、「80歳以

上」では「情報公開制度」（25.5ポイント）となっています。

その一方で、「審議会等の会議の公開制度」は、「20歳代」（4.3ポイント）、「30歳代」（7.6ポイント）で低くなっています。

市民参加制度の認知度（性別、年齢別、複数回答、上位7位）

上段：人数（人） 下段：有効回答割合（ポイント）

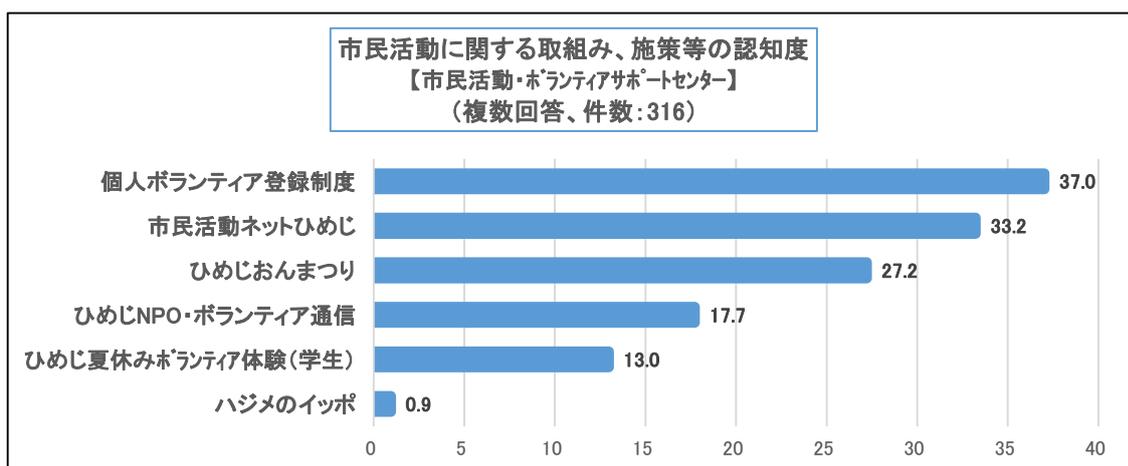
	ひめじ プラス	情報公開 制度	市民アイデア ポスト・市政 ふれあいメール・市政ふれ あいFAX	審議会等 の会議 公開制度	市政 出前講座	タウン ミーティング	パブリック・ コメント制度	全体計
男性	74	81	65	62	49	47	38	241
	30.7	33.6	27.0	25.7	20.3	19.5	15.8	
女性	100	66	67	58	57	61	26	312
	32.1	21.2	21.5	18.6	18.3	19.6	8.3	
不明	1	3	5	2	6	3		9
	11.1	33.3	55.6	22.2	66.7	33.3	0.0	
計	175	150	137	122	112	111	64	562
	31.1	26.7	24.4	21.7	19.9	19.8	11.4	
20歳代	20	17	8	2	5	7	3	47
	42.6	36.2	17.0	4.3	10.6	14.9	6.4	
30歳代	27	10	13	5	7	7	11	66
	40.9	15.2	19.7	7.6	10.6	10.6	16.7	
40歳代	25	21	22	13	19	14	13	91
	27.5	23.1	24.2	14.3	20.9	15.4	14.3	
50歳代	31	27	24	30	26	23	13	89
	34.8	30.3	27.0	33.7	29.2	25.8	14.6	
60歳代	33	28	31	25	16	28	7	102
	32.4	27.5	30.4	24.5	15.7	27.5	6.9	
70歳代	32	34	28	38	27	26	15	111
	28.8	30.6	25.2	34.2	24.3	23.4	13.5	
80歳 以上	7	13	11	9	11	6	2	51
	13.7	25.5	21.6	17.6	21.6	11.8	3.9	
不明					1			5
					20.0			

6 市民活動に関する取組み、施策等の認知度

認知度では、「個人ボランティア登録制度」

市民活動に関する取組み、施策等の認知度では、「市民活動・ボランティアサポートセンターの取組み」としては、「個人ボランティア登録制度」（37.0ポイント）、「市民活動ネットひめじ」（33.2ポイント）、「ひめじおんまつり」（27.2ポイント）が知られています。

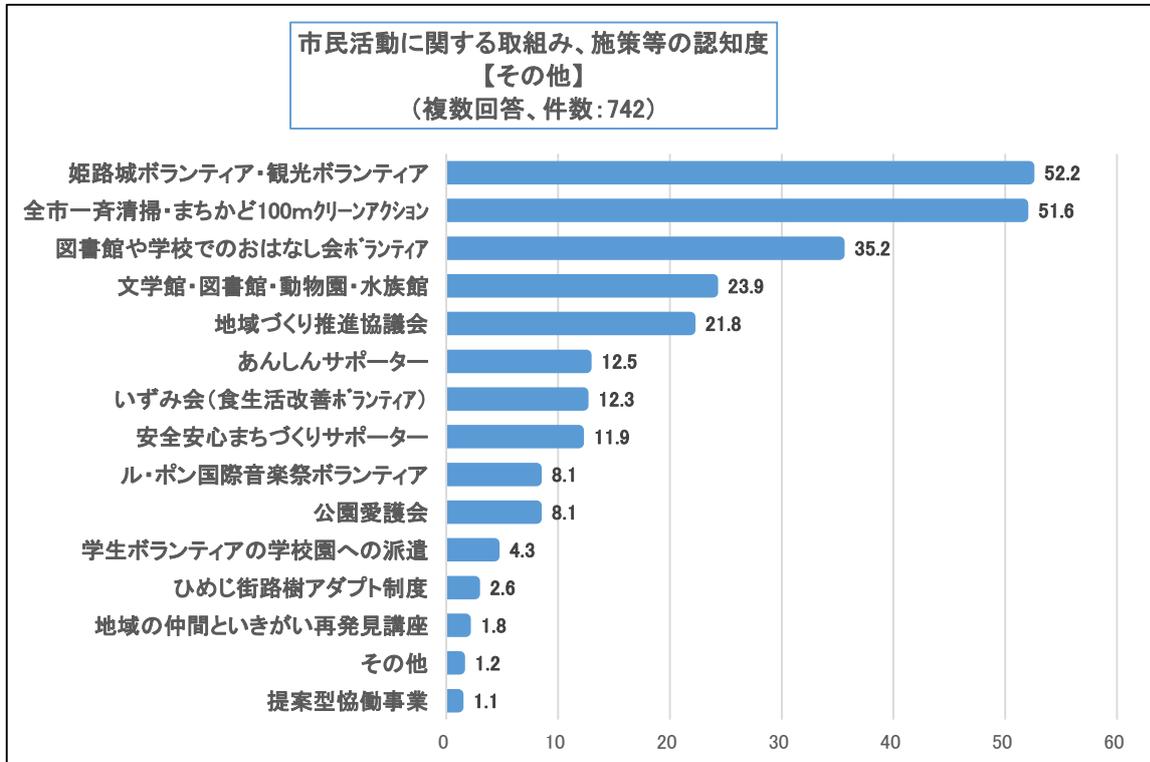
一方で、「ハジメのイッポ」（0.9ポイント）の回答者は全体で3件で、まだまだ認知度は低いです。



「姫路城ボランティア・観光ボランティア」と「全市一斉清掃・まちかど100mクリーンアクション」は抜群の認知度

「その他の取組み」としては、第1位の「姫路城ボランティア・観光ボランティア」（52.2ポイント）と第2位の「全市一斉清掃・まちかど100mクリーンアクション」（51.6ポイント）が突出して割合が高く、「図書館や学校でのおはなし会ボランティア」（35.2ポイント）、「文学館・図書館・動物園・水族館・美術館・科学館・総合福祉通園センターボランティ

ア」(23.9ポイント)、「地域づくり推進協議会」(21.8ポイント)と続
いていきます。



「性別」、「年齢別」で認知度に差が

「市民活動・ボランティアサポートセンターの取組み」を、性別にみると、「男性」の第1位が「市民活動ネットひめじ」(44.4ポイント)、第2位が「個人ボランティア登録制度」(34.6ポイント)、「女性」の第1位が「個人ボランティア登録制度」(39.1ポイント)、第2位が「ひめじおんまつり」(27.0ポイント)と差が生じています。

年齢別にみると、第1位は「20歳代」が「ひめじ夏休みボランティア体験」が、「30歳代」、「40歳代」、「60歳代」は「市民活動ネットひめじ」が、「50歳代」、「70歳代」、「80歳以上」は「個人ボランティア登録制度」が、と年齢層によって差が生じています。

市民活動に関する取組み、施策等の認知度

【市民活動・ボランティアサポートセンター】(性別、年齢別、複数回答、上位順)

上段:人数(人) 下段:有効回答割合(ポイント)

	個人 ボランティア 登録制度	市民活動 ネット ひめじ	ひめじおん まつり	ひめじ NPO・ボラ ンティア通信	ひめじ 夏休み ボランティア 体験	ハジメの イッポ	全体計
男性	46	59	35	29	19		133
	34.6	44.4	26.3	21.8	14.3		
女性	68	43	47	26	22	3	174
	39.1	24.7	27.0	14.9	12.6	1.7	
不明	3	3	4	1			9
	33.3	33.3	44.4	11.1			
計	117	105	86	56	41	3	316
	37.0	33.2	27.2	17.7	13.0	0.9	
20歳代	5	5	5	4	11	1	27
	18.5	18.5	18.5	14.8	40.7	3.7	
30歳代	2	11	9	1	5		27
	7.4	40.7	33.3	3.7	18.5		
40歳代	14	16	11	10	3	1	51
	27.5	31.4	21.6	19.6	5.9	2.0	
50歳代	23	18	19	10	9		55
	41.8	32.7	34.5	18.2	16.4		
60歳代	23	24	13	12	5	1	61
	37.7	39.3	21.3	19.7	8.2	1.6	
70歳代	38	21	19	14	6		66
	57.6	31.8	28.8	21.2	9.1		
80歳 以上	11	10	10	5	2		28
	39.3	35.7	35.7	17.9	7.1		
不明	1						1
	100.0						

「その他の取組み」を、性別にみると、「男性」の第1位は「全市一斉清掃・まちかど100mクリーンアクション」(49.7ポイント)、「女性」の第1位は「姫路城ボランティア・観光ボランティア」(59.2ポイント)と、第1位と第2位が逆転しています。

年齢別にみると、第1位は、「50歳代」以下が「姫路城ボランティア・観光ボランティア」が、「60歳代」以上が「全市一斉清掃・まちかど100mクリーンアクション」と年齢層で二分されています。

市民活動に関する取組み、施策等の認知度

【その他】(性別、年齢別、複数回答、上位順)

上段:人数(人) 下段:有効回答割合(ポイント)

	姫路城 ボランティア ・観光 ボランティア	全市一斉 清掃・ まちかど 100m クリーンアクション	図書館や 学校での おはなし会 ボランティア	文学館・図書館・ 動物園・水族館・ 美術館・科学館・ 総合福祉通園 センターボランティア	地域づくり 推進協議会	全体計
男性	140	152	69	57	78	306
	45.8	49.7	22.5	18.6	25.5	
女性	239	222	189	116	77	404
	59.2	55.0	46.8	28.7	19.1	
不明	8	9	3	4	7	32
	25.0	28.1	9.4	12.5	21.9	
計	387	383	261	177	162	742
	52.2	51.6	35.2	23.9	21.8	
20歳代	30	10	23	17	5	63
	47.6	15.9	36.5	27.0	7.9	
30歳代	32	26	31	13	8	88
	36.4	29.5	35.2	14.8	9.1	
40歳代	64	51	62	30	23	116
	55.2	44.0	53.4	25.9	19.8	
50歳代	77	65	58	27	35	122
	63.1	53.3	47.5	22.1	28.7	
60歳代	76	92	44	41	39	132
	57.6	69.7	33.3	31.1	29.5	
70歳代	83	96	34	32	39	151
	55.0	63.6	22.5	21.2	25.8	
80歳 以上	25	42	9	16	13	66
	37.9	63.6	13.6	24.2	19.7	
不明		1		1		4
		25.0		25.0		

自由意見の整理

今回の調査による1, 154件の回答者から218件の様々な自由意見をいただき、その中から市民活動に関わる意見を整理してまとめました。

市民活動の推進

新しいものを積極的に生み出して受け入れることが大切
市民活動の拠点としての地区公民館の改善を
新しい発想で色々な意見をだし、とにかくやってみること
気軽に参加できるよう、子どもを預けられるような仕組みを
いろいろな話し合いが持てる場がネットでできれば
子供の少ない地域をどうするべきかという未来像も考える必要がある

地域団体の活動の活性化

若者が地元に興味を持つようなプロジェクトを
参加意欲を持たせるような活動内容に
ちょっと背中を押すような、取っかかりがあれば
地域行事中心の活動は限界にきているのではないか
屋外で高齢者から若い人まで気軽に集まって色々な事が出来る場所があれば
しっかりと目標やテーマを持った団体や人づくりが必要
少子高齢化に合わせた行事のやり方を
強制はやめて

ボランティア活動、NPOの活性化

SNSやGoogle等で自然に目にふれるようになれば情報収集しやすい
広報などで参加してみようと思わせる内容の示し方が必要

子供の頃から、ボランティア精神、慈悲の心を植え付けられるやさしい教育を
ボランティアで助けられる人にも助ける人にもメリットがあるしくみを
まずは知ってもらおうということが大事

情報の提供

市役所ホームページをよりわかりやすいものへ
情報を集約したアプリの作成
高齢者にもわかるような情報を紙面ベースでも提供して欲しい
スマホ、パソコンを持っていない人への情報提供方法を
細やかな情報発信が大切で必要
ネット環境の推進

分野ごとの活動

(子育て支援)

子供を産みやすく育てていく環境作り
子育て世代と、経験を積まれた世代との交流の場が一層充実すれば
学校教育、放課後児童クラブ充実のため予算増加を
ママ友作りができる環境を

(青少年育成)

高齢者はスマホ、パソコン等の機械類に弱いので代替策を
SNS等の活用は高齢者にも使える様な工夫が欲しい

(高齢者福祉)

青少年育成活動の場として廃校などの活用ができるように
子供たちが体験を通して様々な経験ができる活動があれば

その他

コロナウイルスによる自粛で活動について考えることが多かった

—あなたのご意見をお聞かせください—

市民活動に関する市民意識調査

■ご協力をお願い

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、市民の皆様には、大変なご不便をおかけしていますが、改めてご理解とご協力をお願いいたします。

さて、姫路市では平成16年12月に初めて「市民活動に関する市民意識調査」を行いました。

その後、平成19年3月に「市民活動・協働推進指針」を、平成20年3月に第一次の「市民活動・協働推進事業計画」を策定し、以降第三次計画まで策定し、「ふれあいと賑わいある 協働・交流都市」の実現に向け、参画と協働のまちづくりを進めてきました。

現在、姫路市では、令和2年度中に第四次計画の策定を予定しています。

今回のアンケートは、姫路市がまちづくりと自治の条例を基本とし、全員参加のまちづくりを進める中で、前回アンケート実施時からの、市民活動に関する市民意識の変化を把握するとともに、今後の市民参加のあり方を検討し、計画策定の参考とするために、実施することになりました。

つきましては、姫路市にお住まいの20歳以上の市民の皆様の中から、3,000人を無作為で選ばせていただき、アンケート調査のご協力をお願いすることといたしました。

この調査は、統計的な処理が目的であり、個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外には一切使用いたしませんので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。

何かとお忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年（2020年）5月

姫路市長 清元 秀泰

【調査票のご記入にあたって】

- この調査票へのご記入は、**あて名の方ご本人**をお願いいたします。
- アンケート用紙にも返信用封筒にも、お名前をご記入いただく必要はありません。
- 各段問では、選択肢の中からあてはまる番号をお選びください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。**
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**5月29日（金）**までにポストにお入れください。
- この調査についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

姫路市役所 市民活動推進課 担当：村田、山岡

〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

電話（079）221-2737

FAX（079）221-2758

メールアドレス sankaku@city.himeji.lg.jp

I 自治会などの地域団体への関わりについておたずねします。

注) この調査で「地域団体」とは自治会をはじめとし、婦人会、老人クラブ、PTA、子ども会、消防団など、地域性の強い団体をいいます。

問1 地域団体の活動にどの程度参加されていますか。【○はひとつ】

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| 1 積極的に参加している | 2 ときどき参加している | (1, 2を選択は問2へ) |
| 3 あまり参加していない | 4 まったく参加していない | (3, 4を選択は問3へ) |

問2 問1で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

あなたは地域団体を通じて、どのような分野の活動に参加されていますか。

【○はいくつでも可能です】

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1 環境美化、環境学習 | 9 子育て支援 |
| 2 文化、学習活動 | 10 人権教育・啓発活動 |
| 3 お祭りや運動会などの地域行事 | 11 男女共同参画 |
| 4 スポーツ、レクリエーション | 12 景観や文化財を守る活動 |
| 5 防犯・防災・交通安全(子ども安全パトロールなど) | 13 国際交流 |
| 6 青少年育成活動 | 14 観光 |
| 7 高齢者や障害者への福祉活動 | 15 その他 |
| 8 まちづくり活動 | () |

(問4へ)

問3 問1で3又は4に○をつけた方のみお答えください。

地域団体の活動に参加されていないのはなぜですか。【○は2つまで】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 仕事・家事・育児・介護などで忙しい | 6 参加するメリットを感じない |
| 2 参加したい活動がない | 7 興味・関心がない |
| 3 特定の人を中心に参加しづらい | 8 参加する方法が分からない・情報がない |
| 4 役員などの負担が大きい | 9 その他 |
| 5 他にやりたいことがある | () |

問4 あなたは地域団体の活動について、どのような感想をお持ちですか。【○はひとつ】

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 大いに必要 | 3 どちらかという必要 |
| 2 ある程度は必要 | 4 あまり必要とは思わない |

問5 地域団体の活動は今後どうあるべきだとお考えですか。【○はひとつ】

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 既存の活動だけでなく、新しい活動が必要 | 4 必要最低限の活動にとどめるべき |
| 2 既存の活動をさらに拡充すべき | 5 わからない |
| 3 現状のままでよい | 6 その他() |

問6 問5で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

地域団体の活動を継続するうえで、現状より改善すべき点はどんなところですか。【○は2つまで】

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 地域のまとまりを高める | 5 活動のための資金を充実させること |
| 2 活動団体の運営能力を向上させる | 6 活動のための情報を充実させること |
| 3 活動の担い手(人材)育成 | 7 他の団体等と協力すること |
| 4 活動のための場所を充実させること | 8 その他() |

問7 地域団体は今後、どのような分野を中心に活動していくべきだとお考えですか。【○は5つまで】

1 環境美化、環境学習	9 子育て支援
2 文化、学習活動	10 人権教育・啓発活動
3 お祭りや運動会などの地域行事	11 男女共同参画
4 スポーツ、レクリエーション	12 景観や文化財を守る活動
5 防犯・防災・交通安全（子ども安全パトロールなど）	13 国際交流
6 青少年育成活動	14 観光
7 高齢者や障害者への福祉活動	15 その他
8 まちづくり活動	()

II ボランティア活動やNPOへの関わりについておたずねします。

注) NPO：非営利組織という意味の Non Profit Organization の頭文字をとったもので、日本では一般に「民間非営利組織」と呼ばれる。特定非営利活動促進法によるNPO法人は、保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、文化・芸術・スポーツ、環境保全、災害救援、国際協力等の分野に該当し、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする活動（特定非営利活動）を行うことを主たる目的としている。

問8 あなたはボランティア活動やNPO活動に参加されたことがありますか。また、ここ一年間に参加された日数をお答えください。【それぞれ○はひとつ】

1 参加している	→	1 120日以上	5 3日～5日
2 参加したことがある		2 60日～119日	6 1日～2日
3 参加したことがない (問11へ)		3 12日～59日	7 参加なし
		4 6日～11日	

問9 問8で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

あなたはボランティア活動やNPO活動を主にどの範囲で行われていますか。【○はひとつ】

1 居住地周辺	5 市内のほぼ全域
2 小学校区内	6 姫路市を含む周辺地域
3 小学校区を含む周辺地域	7 兵庫県内
4 市内のかなり広い範囲	8 その他 ()

問10 問8で1又は2に○をつけた方のみお答えください。

あなたはどのような分野のボランティア活動・NPO活動に参加されていますか。【○はいくつでも】

1 環境美化、環境学習	9 子育て支援
2 文化、学習活動	10 人権教育・啓発活動
3 お祭りや運動会などの地域行事	11 男女共同参画
4 スポーツ、レクリエーション	12 景観や文化財を守る活動
5 防犯・防災・交通安全（子ども安全パトロールなど）	13 国際交流
6 青少年育成活動	14 観光
7 高齢者や障害者への福祉活動	15 その他
8 まちづくり活動	()

(問12へ)

問 1 1 問 8 で 3 に ○ を つ け た 方 の み お 答 え く だ さ い。

あなたがボランティア活動やNPO活動に参加されていないのはなぜですか。【○は2つまで】

1 仕事・家事・育児・介護などで忙しい	6 参加するメリットを感じない
2 参加したい活動がない	7 興味・関心がない
3 特定の人が中心で参加しづらい	8 参加する方法が分からない・情報がない
4 役員などの負担が大きい	9 その他
5 他にやりたいことがある	()

問 1 2 あなたは今後、ボランティア活動やNPO活動に参加したいと思われませんか。【○はひとつ】

1 ぜひ参加したい	3 あまり参加したいと思わない
2 機会があれば参加したい	4 どちらともいえない

問 1 3 あなたが今後、ボランティア活動やNPO活動に参加するとすれば、どのような分野の活動に参加してみたいですか。【○はいくつでも】

1 環境美化、環境学習	9 子育て支援
2 文化、学習活動	10 人権教育・啓発活動
3 お祭りや運動会などの地域行事	11 男女共同参画
4 スポーツ、レクリエーション	12 景観や文化財を守る活動
5 防犯・防災・交通安全（子ども安全パトロールなど）	13 国際交流
6 青少年育成活動	14 観光
7 高齢者や障害者への福祉活動	15 その他
8 まちづくり活動	()

問 1 4 あなたがボランティア活動やNPO活動に特に期待する分野をお選びください。【○は5つまで】

1 環境美化、環境学習	9 子育て支援
2 文化、学習活動	10 人権教育・啓発活動
3 お祭りや運動会などの地域行事	11 男女共同参画
4 スポーツ、レクリエーション	12 景観や文化財を守る活動
5 防犯・防災・交通安全（子ども安全パトロールなど）	13 国際交流
6 青少年育成活動	14 観光
7 高齢者や障害者への福祉活動	15 その他
8 まちづくり活動	()

問 1 5 これからのまちづくりでは、自治会などの地域団体とボランティア・NPOがどのように役割分担することがよいと思われませんか。【○はひとつ】

1 地域団体が主となって、ボランティア・NPOが協力する
2 ボランティア・NPOが主になって、地域団体が協力する
3 活動内容に応じ、地域団体が主になったり、ボランティア・NPOが主になったりして、互いに協力する
4 自治会などの地域団体とボランティア・NPOが得意分野ごとに活動する

問 1 6 市民活動を推進していくために、特に重要と思われるものをお選びください。【○は3つまで】

- 1 活動団体や活動内容などの情報提供の充実
- 2 活動に関する相談窓口の充実
- 3 審議会や委員会で市民公募を増やす
- 4 市民が自由に使える活動拠点を設ける
- 5 まちづくりの人材養成の講座や研修
- 6 活動経費などの資金援助
- 7 計画策定やまちづくりの場に市民参加の機会を増やす
- 8 学校での授業や課外活動への市民活動の取り入れ
- 9 その他（)

問 1 7 地域の問題解決のために、行政と市民はどうあるべきだと思われますか。【○はひとつ】

- 1 あくまでも行政が対策を考え、解決を図る
- 2 行政ができないことは要請に応じて市民も協力していく
- 3 行政だけではなく、市民・地域が積極的に提案、協力して取り組む
- 4 まずは家庭や地域が助け合い、できない場合に限って行政が応援する

Ⅲ あなたの市政への関わりについておたずねします。

問 1 8 あなたは市役所がどのような仕事をしているか、どのような計画を立てているか関心をお持ちですか。【○はひとつ】

- | | |
|------------|-------------|
| 1 大いに関心がある | 4 まったく関心がない |
| 2 少しは関心がある | 5 その他（) |
| 3 あまり関心がない | |

問 1 9 市民の声を市政に反映していくためには、どのようなことが大切でしょうか。【○はひとつ】

- 1 自治会などの地域団体・NPOと市との意見交換の機会を増やす
- 2 まちづくりや各種計画づくりへの市民参加の機会を増やす
- 3 市政への提案・提言の機会やしくみを増やす
- 4 アンケートなどを定期的実施する
- 5 市民の苦情処理や相談窓口の機能を充実する
- 6 ICT、AIを活用して、双方向の情報共有を進める
- 7 その他（)
- 8 わからない

問 2 0 あなたはどのような方法で市政情報を入手されていますか。【○はいくつでも】

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 1 広報ひめじ | 8 新聞、コミュニティ新聞等 |
| 2 議会報ひめじ | 9 各種講座や説明会 |
| 3 市のホームページ | 10 SNS（フェイスブック・インスタグラム・ツイッター等） |
| 4 市役所や支所の窓口 | 11 姫路市公式アプリ「ひめじプラス」 |
| 5 公共施設の掲示 | 12 社会福祉協議会、地域団体等の広報紙 |
| 6 回覧板 | 13 地域団体等の会合 |
| 7 テレビ、ラジオ等 | 14 その他（) |

問 2 1 あなたは市政について、特にどのようなことをお知りになりたいですか。【○は3つまで】

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 市の将来構想の内容 | 7 市の施設の内容や利用方法の紹介 |
| 2 大規模のプロジェクトなど重要な施策の内容 | 8 行事の催しなどの情報 |
| 3 市の予算内容や使われ方 | 9 市政全般の統計資料 |
| 4 各種審議会・委員会等の議論 | 10 その他（) |
| 5 自分の住む地域のまちづくりの計画 | 11 わからない |
| 6 新しくできた制度や手続きの紹介 | |

問 2 2 本市における市民参加のための取組みについて、あなたがお存じのものをお選びください。

【○はいくつでも】

- | |
|---------------------------------|
| 1 市民アイデアポスト・市政ふれあいメール・市政ふれあいFAX |
| 2 ひめじプラス |
| 3 審議会等の会議公開制度 |
| 4 情報公開制度 |
| 5 市政出前講座 |
| 6 パブリック・コメント制度（市民意見提出手続制度） |
| 7 タウンミーティング（ひめじ創生カフェ等） |
| 8 その他（) |

問 2 3 市民活動に関する取組み、施策等について、あなたがお存じのものをお選びください。

【○はいくつでも】

《市民活動・ボランティアサポートセンターの取組み》

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 個人ボランティア登録制度 | 4 ひめじ夏休みボランティア体験（学生） |
| 2 ひめじNPO・ボランティア通信 | 5 ひめじおんまつり |
| 3 市民活動ネットひめじ | 6 ハジメのイッポ（ボランティア体験プログラム） |

《その他の市の取組み》

- | |
|---|
| 1 地域づくり推進協議会 |
| 2 提案型協働事業 |
| 3 学生ボランティアの学校園への派遣 |
| 4 安全安心まちづくりサポーター |
| 5 公園愛護会 |
| 6 図書館や学校でのおはなし会ボランティア |
| 7 あんしんサポーター |
| 8 ひめじ街路樹アダプト制度 |
| 9 全市一斉清掃・まちかど100mクリーンアクション |
| 10 文学館・図書館・動物園・水族館・美術館・科学館・総合福祉通園センターボランティア |
| 11 いずみ会（食生活改善ボランティア） |
| 12 地域の仲間といきがい再発見講座 |
| 13 ル・ポン国際音楽祭ボランティア |
| 14 姫路城ボランティア・観光ボランティア |
| 15 その他（) |

Ⅳ あなたご自身についておたずねします。

問 2 4 あなたの性別と年齢についてお答えください。【それぞれ○はひとつ】

1 男	1 20歳代	2 30歳代	3 40歳代	4 50歳代
2 女	5 60歳代	6 70歳代	7 80歳代	

問 2 5 あなたの主な職業についてお答えください。【○はひとつ】

1 農林漁業、その家族従事者	6 学生（大学・専門学校など）
2 自営業（商工サービス、自由業等）	7 経営者、役員（法人の）
3 正社員・正職員	8 無職
4 パート、アルバイト、契約、派遣、嘱託社員	9 その他（ ）
5 家事専業	

問 2 6 あなたのご家族の構成についてお答えください。【○はひとつ】

1 単身（一人暮らし）	2 夫婦のみ、兄弟や姉妹のみ（1世代）	3 親と子ども（2世代）
4 親と子どもと孫など3世代以上の家族	5 その他（ ）	

問 2 7 あなたのお住まいの住宅形態についてお答えください。【○はひとつ】

1 持ち家（一戸建て）	4 賃貸住宅（賃貸マンション・アパート）
2 持ち家（分譲マンション等）	5 社員住宅・職員住宅
3 賃貸住宅（一戸建て）	6 その他（ ）

問 2 8 あなたのお住まいの地区（地区の下に書いてある小学校区）について、あてはまる番号に○印をつけてください。

1 中部地区 城東 白鷺 城西 城乾 野里 東 船場 城陽 手柄 荒川 高岡 高岡西 安室 安室東	2 西部地区 青山 白鳥 曾左 峰相 太市 伊勢 林田	4 東部地区 花田 四郷 御国野 別所 谷外 谷内	6 飾磨地区 英賀保 津田 飾磨 高浜 妻鹿	8 網干地区 網干 網干西 余部 旭陽 勝原 大津茂	10 夢前地区 置塩 古知 前之庄 菅生 上菅 筋野
	3 北部地区 城北 水上 増位 広峰 砥堀 豊富 山田 船津	5 灘地区 糸引 白浜 八木 的形 大塩	7 広畑地区 八幡 広畑 広畑第二 大津 南大津	9 家島地区 家島 坊勢	11 香寺地区 中寺 香呂 香呂南
					12 安富地区 安富南 安富北

※地区がわからない場合は、町名をお答えください（ ）

